

〈 乳児一般健康診査の部 〉

乳児一般健康診査は、母子保健法第13条において市町村は健康診査を行い、又は健康診査を受けることを勧奨しなければならないとされている。

乳児一般健康診査は、乳幼児の健康診査及び保健指導要領によると、発育栄養状態、精神、運動機能の発達、疾病又は異常の早期発見と予防に留意すること。

さらに保護者が心配事、不安、訴え等をよく話せるように心掛ける。又、養育態度、乳児の睡眠の乱れ、摂食の問題、なだめにくい啼泣、恐れ、不安等の精神的に不安定な状態、児童虐待、家庭環境等にも配慮しながら健康診査を行うとされている。

市町村においては、2回以上の健康診査、乳児前期・乳児後期を実施するとともに、受診勧奨に努めるものである。



I 一般健診の部

1 実施状況

県内40市町村の乳児一般健康診査は、令和2年度同様新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の拡大により延期や中止になるなど大きく影響を受け、1歳を過ぎて受診する児もあった。

乳児の集団健診は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までに、集団健診281回の計画に対し275回（1日115回、半日160回）実施された。市町村では、集団健診を実施するにあたり呼び出し人数の制限や予約制を導入するなど3密を回避する対応をとり、6市町では、個別健診も併用し実施された。また、市町村によっては、未受診者対策として再通知等を行い受診勧奨を行っている。

乳児期は前期と後期の2回受診の機会があり、本報告書の対象者数は、乳児期に2回の健診通知がされた合計28,556人でその内の25,508人が受診している。内45人は対象外児（県外児等）であった。受診者数は、総受診者数から対象外児を除いた25,463人となり、受診率は89.2%（令和2年度85.3%）で昨年度に比べ高くなっている。

乳児一般健康診査実施状況

市町村数	実施回数		対象者数 (通知)	再通知 (別計)	総受診者数	対象児	対象外児 (県外児等)	受診率 %
	1日	半日						
40	115	160	28,556	2,644	25,508	25,463	45	89.2

注）対象外児とは、県外からの里帰り児などをいう。その内訳は次ページに掲載

2 受診状況

1歳を過ぎて月齢外に受診する児は1,493人（5.9%）であったが、令和2年度より大きく減少している。（令和2年度3,784人（14.6%））

乳児一般健康診査受診状況（回数・月齢別）

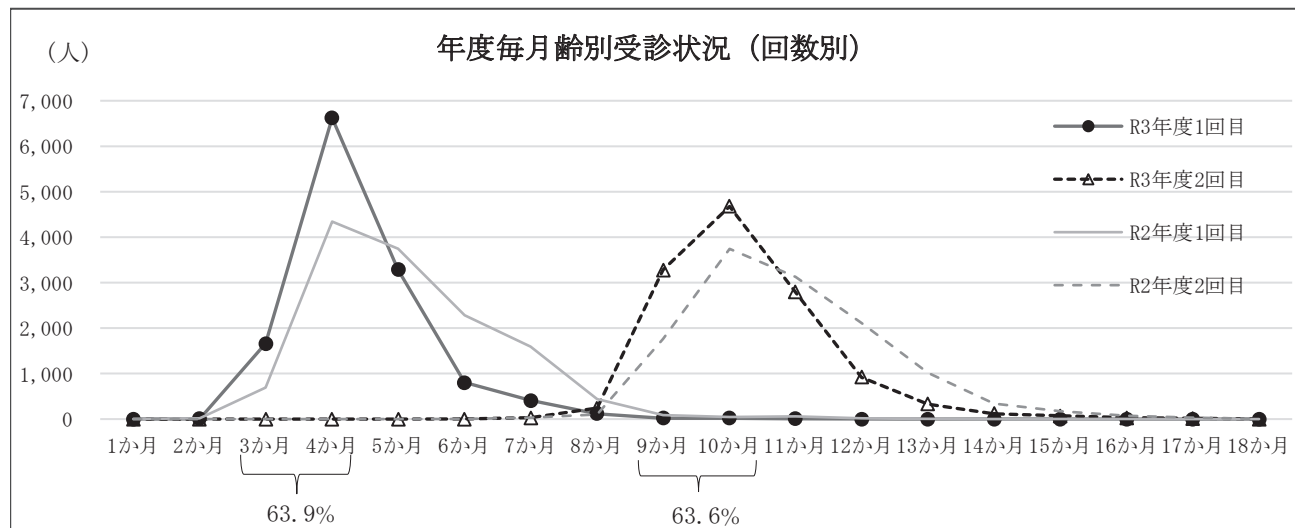
単位：人

月齢		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
1 回 目	男 集団	2	5	402	1,823	1,150	310	177	28	12	8	2	1	1	-	-	-	-	-	3,921
	男 個別	-	-	456	1,583	556	118	50	26	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2,791
	女 集団	-	2	397	1,717	1,043	285	136	43	5	7	8	-	-	-	-	1	-	-	3,644
	女 個別	-	-	406	1,498	539	88	42	20	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2,600
	小計	2	7	1,661	6,621	3,288	801	405	117	22	19	10	1	1	-	-	1	-	-	12,956
2 回 目	男 集団	-	-	-	-	-	2	15	130	1,319	1,931	1,063	459	161	60	28	7	2	1	5,178
	男 個別	-	-	-	-	-	-	1	-	369	517	360	15	11	5	5	4	6	2	1,295
	女 集団	-	-	-	-	-	-	13	108	1,221	1,751	1,007	437	154	53	30	12	6	-	4,792
	女 個別	-	-	-	-	-	-	1	3	368	477	361	12	2	4	8	3	3	-	1,242
	小計	-	-	-	-	-	2	30	241	3,277	4,676	2,791	923	328	122	71	26	17	3	12,507
計	集団	2	7	799	3,540	2,193	597	341	309	2,557	3,697	2,080	897	316	113	58	20	8	1	17,535
	個別	-	-	862	3,081	1,095	206	94	49	742	998	721	27	13	9	13	7	9	2	7,928
	計	2	7	1,661	6,621	3,288	803	435	358	3,299	4,695	2,801	924	329	122	71	27	17	3	25,463
受診数に対する割合		0.0	0.0	6.5	26.0	12.9	3.2	1.7	1.4	13.0	18.4	11.0	3.6	1.3	0.5	0.3	0.1	0.1	0.0	% 100.0
		前期 12,382(48.6%)						後期 11,588(45.5%)						月齢外 1,493 (5.9%)						

（参照）統計資料 No. 1～2

乳児健診の望ましい受診月齢は、1回目が3～4か月、2回目が9～10か月とされている。

受診状況を見ると、1回目の受診月齢は1～16か月でうち3～4か月の受診は8,282人(63.9%)、2回目の受診月齢は6～18か月でうち9～10か月の受診は7,953人(63.6%)であった。新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、前期・後期ともに望ましい月齢での受診に近づいてきている。



（参考）

○令和2年2月頃から新型コロナウイルス感染症が流行し、その感染拡大防止のため健診を延期した結果、対象月齢を超え受診した児も健診受診者として計上した。（国の地域保健・健康増進事業報告の記入要領による）

○40市町村の令和3年（R3.1.1～R3.12.31）概算出生数14,268人（男7,365人、女6,903人）の単純対象数で算出すると、1回目が90.8%で、2回目が87.7%となる。

乳児一般健康診査受診率（回数別）

	対象者数 (概算出生数)	受診者数	受診率 (%)
1回目	14,268	12,956	90.8
2回目	14,268	12,507	87.7
計	28,536	25,463	89.2

注）乳児期は、公費による受診機会が1人2回提供される。

対象外児（県外児等）内訳

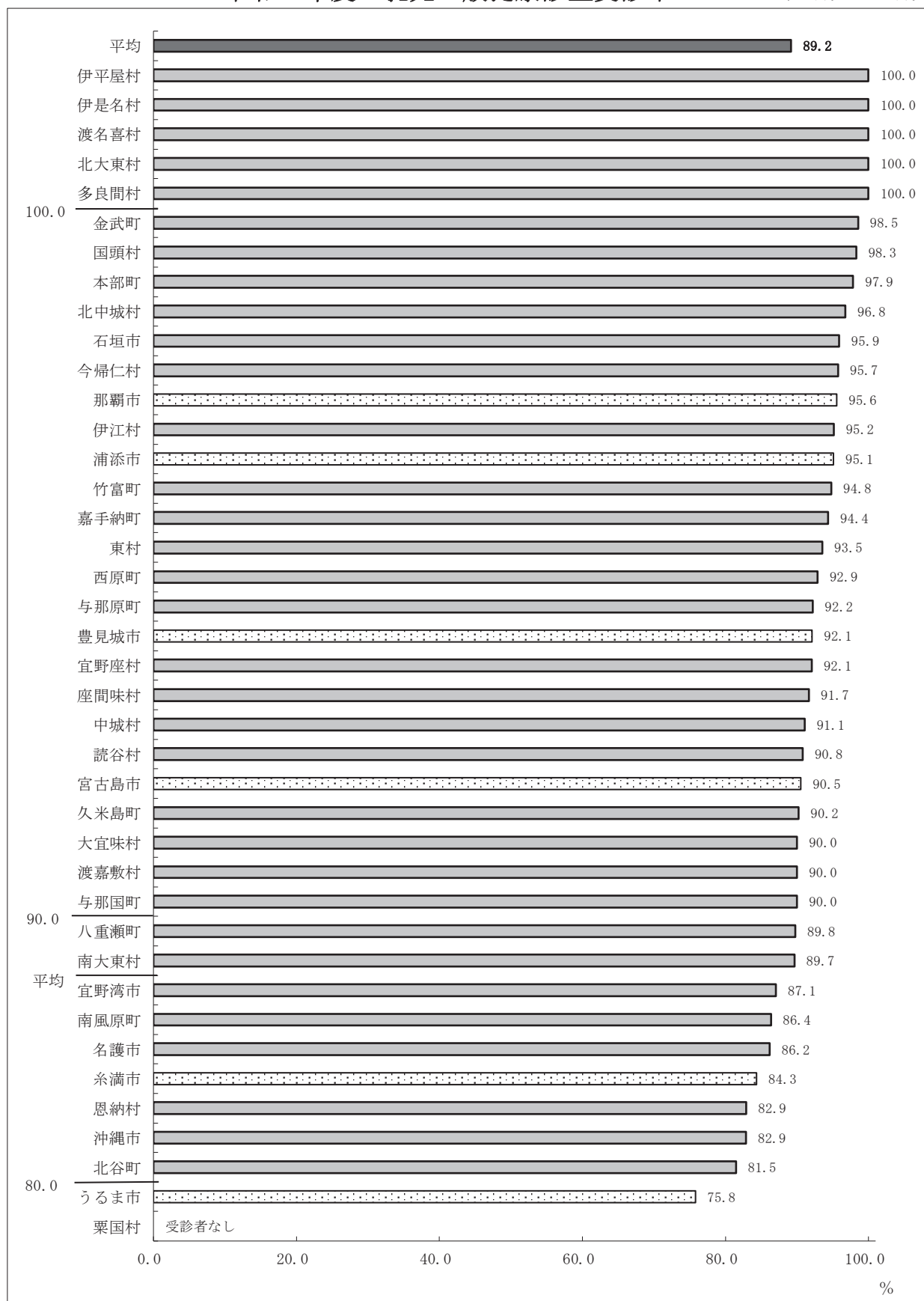
国頭村(1)	伊江村(1)	うるま市(5)	沖縄市(12)	北谷町(2)	北中城村(1)	宜野湾市(5)
浦添市(10)	与那原町(2)	八重瀬町(1)	石垣市(5)		計	45人

注）（ ）は対象外児の人数

（参照）参考資料 No. 2

令和3年度 乳児一般健康診査受診率

(1か月児～18か月児)



注) ○ 令和3年度に個別健診を実施した市町村

(参照) 統計資料 No. 1 経年比較資料 No. 25

3 出生直後の状況

3-1 在胎週数と出生時体重（1回目前期受診時）

受診1回目で月齢6か月までの児を在胎週数と出生時体重別に分類したものである。

在胎週数と出生時体重（6か月児まで）							単位：人
在胎週数	出生時体重						計
	1,000g未満	1,000～1,499g	1,500～1,999g	2,000～2,499g	2,500g以上	記入なし	
満28週未満	4	2	-	-	1	-	7
28～35週	4	43	111	142	51	2	353
36～39週	-	2	39	818	7,385	25	8,269
満40週以上	-	-	2	39	3,436	6	3,483
記入なし	-	-	4	11	233	20	268
計	8	47	156	1,010	11,106	53	12,380

注）H25年の低出生体重児に関する調査によると、低出生体重児は出生体重が小さい程病院で経過観察されている。

3-2 分娩状況（1回目受診時）

分娩時の状況をみると、正常分娩が62.5%で異常分娩が37.5%となっている。異常分娩の内訳では帝王切開が65.0%と高い割合になっている。

分娩状況					
	正常分娩	異常分娩	小計	記入なし	合計
実人員	8,086	4,852	12,938	18	12,956
%	62.5	37.5	100.0	-	-

単位：件

異常分娩 (再掲)	異常分娩内訳（複数選択）										
	骨盤位	吸引	鉗子	帝王切開	前期破水	臍帯巻絡	出血	早産	子宮内感染	その他	不明
4,852	279	1,172	18	3,152	351	90	147	331	23	96	14
%	5.8	24.2	0.4	65.0	7.2	1.9	3.0	6.8	0.5	2.0	0.3

（参照）統計資料 No. 18

3-3 生まれたとき（1回目受診時）

新生児聴覚検査						
	なし	あり	正常	再検査	不明	小計
実人員	2,031	10,614	10,458	116	40	12,645
%	16.1	83.9	(98.9)	(1.1)	-	100.0

注）（ ）は検査ありのうち、不明を除いた数を分母に算出した割合

注）R1年度厚生労働省の調査に基づく新生児聴覚検査実施率は90.8%

（参照）統計資料 No. 19

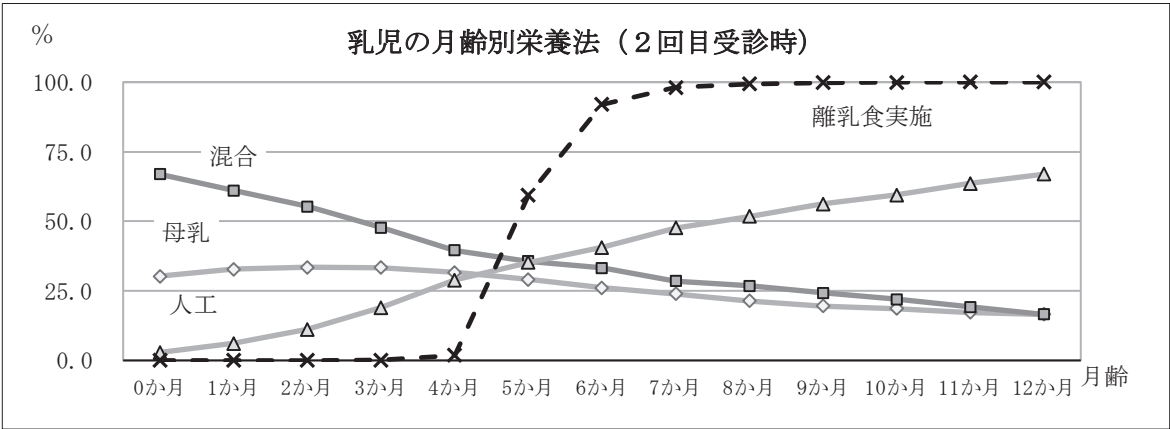
4 乳児の栄養法

4-1 月齢別栄養法と離乳食の実施状況（2回目受診時）

受診2回目の12,507人の乳児を対象に栄養法を分類すると、生後3か月で母乳栄養が33.3%、混合栄養が47.7%、人工栄養が19.0%となっている。離乳食の実施は、6か月で92.0%となっている。

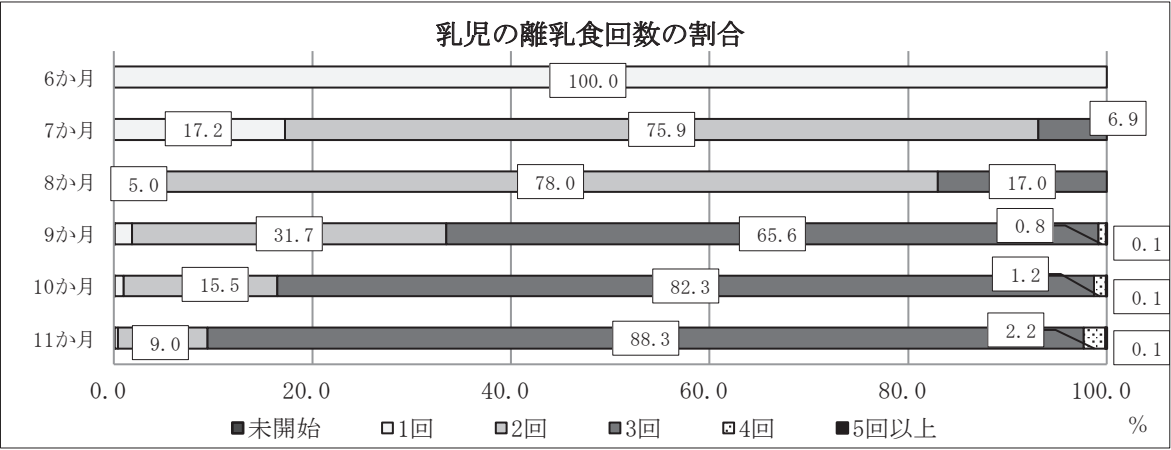
月 齢	集計件数	母乳（%）	混合（%）	人工（%）	離乳食実施状況（%）
0か月	11,962	30.2	66.9	2.9	-
1か月	11,990	32.8	61.1	6.1	-
2か月	12,021	33.5	55.3	11.2	0.0
3か月	12,045	33.3	47.7	19.0	0.2
4か月	12,004	31.7	39.5	28.8	1.9
5か月	11,998	29.1	35.6	35.2	59.3
6か月	11,983	26.1	33.2	40.6	92.0
7か月	11,978	23.9	28.5	47.6	98.0
8か月	11,946	21.4	26.8	51.8	99.4
9か月	11,774	19.5	24.3	56.2	99.8
10か月	8,592	18.6	21.9	59.4	100.0
11か月	4,047	17.3	19.2	63.6	100.0
12か月	1,391	16.5	16.5	66.9	100.0
割合	-	27.1	39.7	33.2	-

注）月齢別栄養法の分類とは、月齢ごとに栄養法を単純に分類したものである。



4-2 月齢別離乳食回数（2回目受診時）

離乳食回数について、6か月から11か月までの児を集計した。7か月児は2回食が75.9%（R2年度84.2%）、9か月児は3回食が65.6%（R2年度64.6%）となっている。



4-3 離乳食の状況（2回目受診時）

○離乳食の開始月齢（10か月児）

離乳食の開始時期について、受診時の月齢が10か月児4,676人を対象に分類した。

開始 月齢	3か月	4か月	5か月	6か月	7か月	8か月	9か月	10か月	計	未開始	記入 なし
実人員	6	93	2,674	1,514	264	56	21	7	4,635	4	37
%	0.1	2.0	57.7	32.7	5.7	1.2	0.5	0.2	100.0	-	-

○離乳食の食べ方（6か月～11か月児）

離乳食の食べ方について、受診時の月齢が6～11か月児11,017人を対象に分類した。

単位：人

月齢	よく 食べる	嫌がる	時間が かかる	内容 不明	計	未開始	記入 なし
6か月	2	-	-	-	2	-	-
%	100.0	-	-	-	100.0	-	-
7か月	26	2	1	1	30	-	-
%	86.7	6.7	3.3	3.3	100.0	-	-
8か月	214	13	14	-	241	-	-
%	88.8	5.4	5.8	-	100.0	-	-
9か月	2,743	185	305	40	3,273	4	-
%	83.8	5.7	9.3	1.2	100.0	-	-
10か月	3,934	266	426	46	4,672	4	-
%	84.2	5.7	9.1	1.0	100.0	-	-
11か月	2,399	127	240	23	2,789	2	-
%	86.0	4.6	8.6	0.8	100.0	-	-
計	9,318	593	986	110	11,007	10	-
%	84.7	5.4	9.0	1.0	100.0	-	-

○ベビーフードの利用（6か月～11か月児）

ベビーフードの利用について、受診時の月齢が6～11か月児11,017人を対象に分類した。

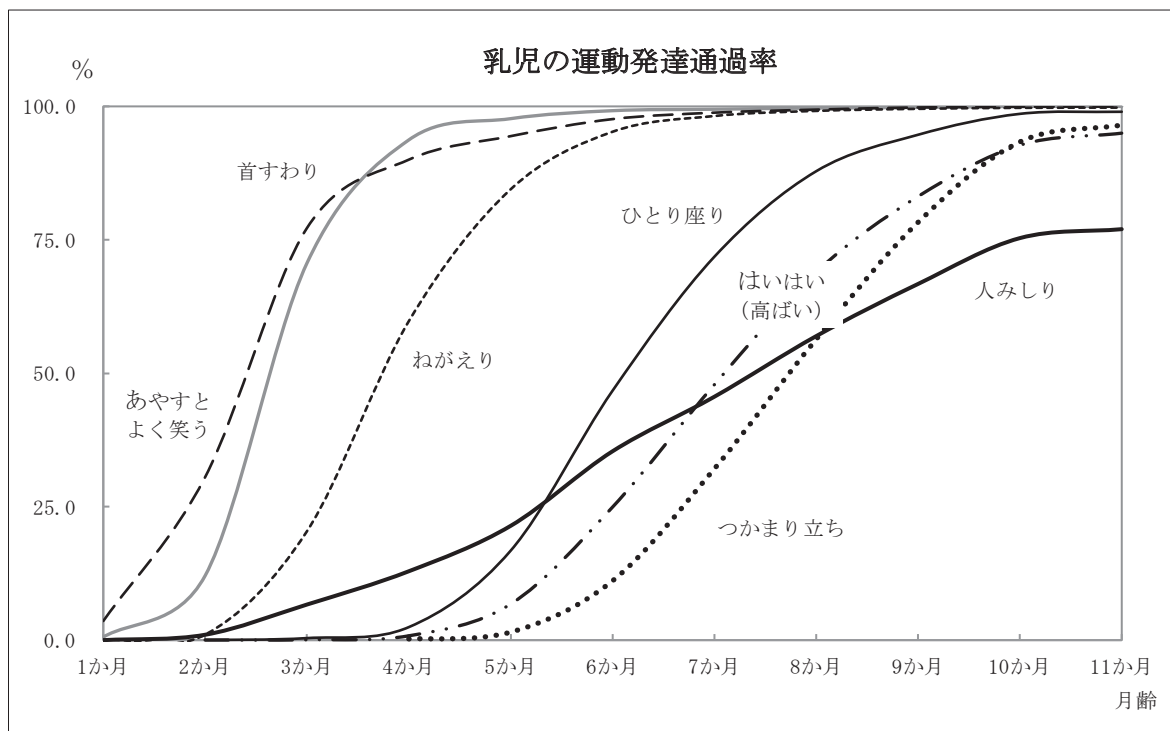
単位：人

月齢	使わない	時々	よく 使う	内容 不明	計	未開始	記入 なし
6か月	2	-	-	-	2	-	-
%	100.0	-	-	-	100.0	-	-
7か月	12	10	7	1	30	-	-
%	40.0	33.3	23.3	3.3	100.0	-	-
8か月	84	124	33	-	241	-	-
%	34.9	51.5	13.7	-	100.0	-	-
9か月	1,340	1,540	380	13	3,273	4	-
%	40.9	47.1	11.6	0.4	100.0	-	-
10か月	1,881	2,306	472	13	4,672	4	-
%	40.3	49.4	10.1	0.3	100.0	-	-
11か月	1,256	1,290	230	13	2,789	2	-
%	45.0	46.3	8.2	0.5	100.0	-	-
計	4,575	5,270	1,122	40	11,007	10	-
%	41.6	47.9	10.2	0.4	100.0	-	-

5 発達

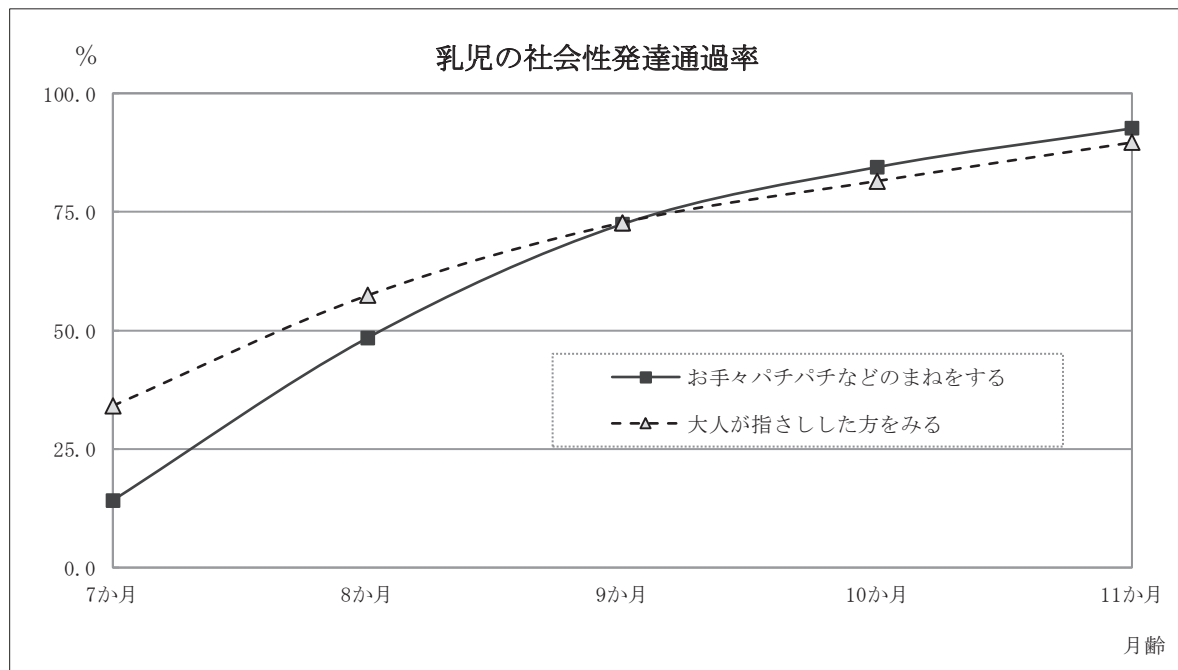
○運動発達の通過率（11か月児）

乳児の運動発達の通過状況について、受診時の月齢が11か月児2,801人を対象に分類した。



○社会性発達の通過率（後期 7～11か月児）

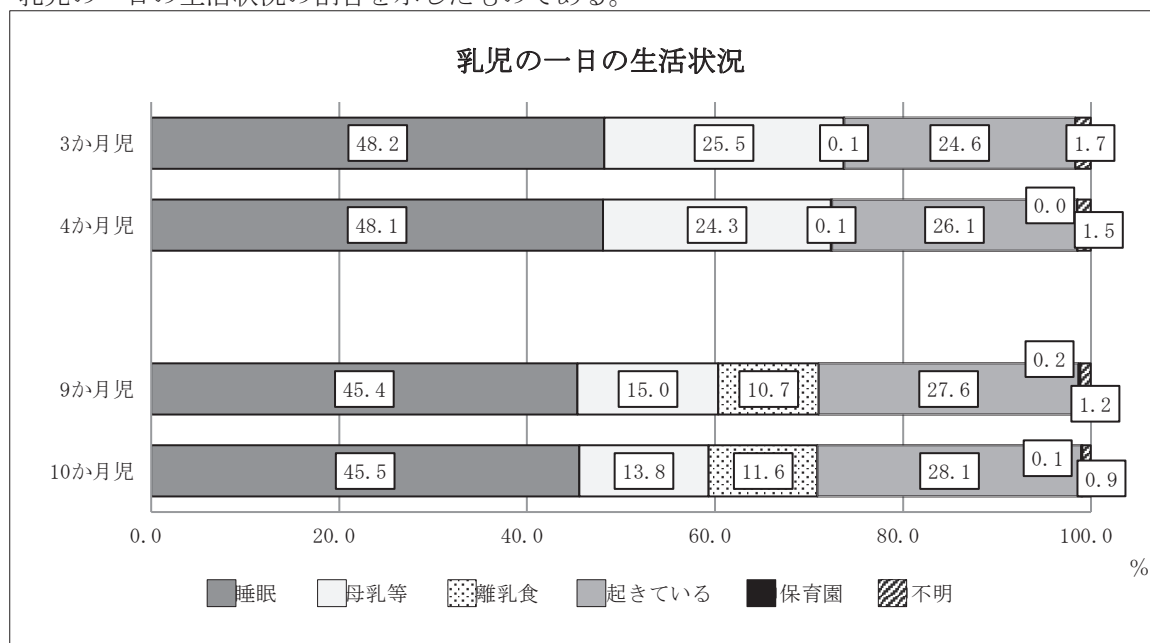
乳児の社会性発達状況について、受診時の月齢が7～11か月の児11,588人を対象に分類した。



6 乳児の生活リズム

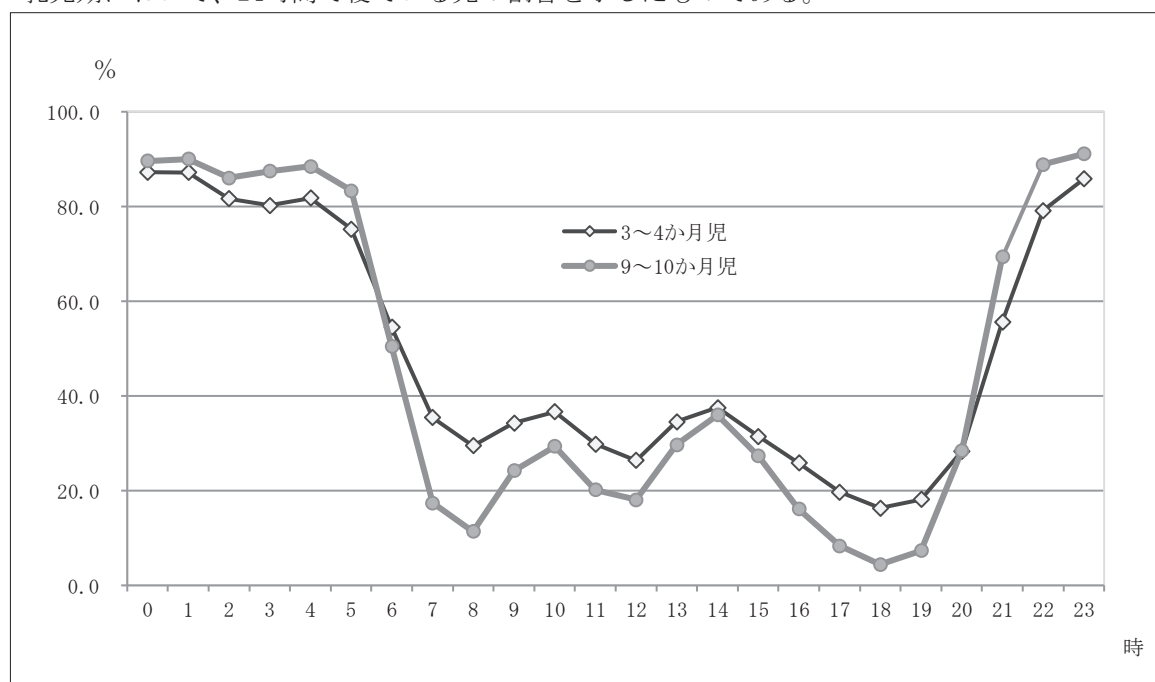
○乳児の一日の生活状況（3～4か月児・9～10か月児）

乳児の一日の生活状況の割合を示したものである。



○乳児の一日の睡眠（3～4か月児・9～10か月児）

乳児期において、24時間で寝ている児の割合を示したものである。



7 診察・検査結果

乳児一般健康診査の受診児は25,463人で、うち医師の総合判定の結果、問題なしの児は19,465人（76.4%）、要相談等何らかの判定のある児は5,998人（23.6%）となっている。

診察及び検査については、診察の有所見は5,045件、貧血検査の異常は1,391件となっている。総合判定結果及び診察所見について分類したものを以下に示す。

なお、貧血検査は、乳児後期を対象に集計した。

総合判定(実人員)

単位：人

判定			問題なし	判定結果異常等（実人員）						計	
				要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中		
受診者数			25,463	19,465	1,747	855	1,921	182	480	813	5,998
%			100.0	76.4	6.9	3.4	7.5	0.7	1.9	3.2	-
適正月齢	前期	集団	7,138	5,629	238	157	661	24	160	269	1,509
		個別	5,244	4,181	129	195	385	108	123	123	1,063
		計	12,382	9,810	367	352	1,046	132	283	392	2,572
		%	100.0	79.2	3.0	2.8	8.4	1.1	2.3	3.2	-
	後期	集団	8,984	6,506	1,065	275	708	18	125	287	2,478
		個別	2,604	2,037	130	182	96	27	48	84	567
		計	11,588	8,543	1,195	457	804	45	173	371	3,045
		%	100.0	73.7	10.3	3.9	6.9	0.4	1.5	3.2	-
月齢外	集団	1,413	1,053	176	40	71	4	22	47	360	
	個別	80	59	9	6	-	1	2	3	21	
	計	1,493	1,112	185	46	71	5	24	50	381	

診察所見及び検査の内訳

計	(1) 診察有所見	(2) 貧血検査の異常（後期）
6,436	5,045	1,391

(1) 有所見 (内訳)			計	発育	皮膚	頭頸部	顔面・ 口腔	眼	耳鼻咽喉	胸部	腹部	その他 外陰部
			5,045	578	2,042	149	114	108	69	240	139	256
適正月齢	前期	集団	1,550	65	609	41	28	25	17	74	52	80
		個別	1,382	131	648	35	27	24	25	43	36	39
		計	2,932	196	1,257	76	55	49	42	117	88	119
		%	100.0	6.7	42.9	2.6	1.9	1.7	1.4	4.0	3.0	4.1
	後期	集団	1,294	198	462	44	34	40	17	79	41	110
		個別	636	159	251	18	20	14	7	30	4	18
		計	1,930	357	713	62	54	54	24	109	45	128
		%	100.0	18.5	36.9	3.2	2.8	2.8	1.2	5.6	2.3	6.6
月齢外	集団	174	24	67	10	5	5	3	14	6	9	
	個別	9	1	5	1	-	-	-	-	-	-	
	計	183	25	72	11	5	5	3	14	6	-	

			背部	四肢	発達・ 神経	その他の 異常
			51	1,073	106	120
適正月齢	前期	集団	16	503	31	9
		個別	12	321	26	15
		計	28	824	57	24
		%	1.0	28.1	1.9	0.8
	後期	集団	11	182	30	46
		個別	9	50	15	41
		計	20	232	45	87
		%	1.0	12.0	2.3	4.5
月齢外	集団	3	16	4	8	
	個別	-	1	-	1	
	計	3	17	4	9	

(2) 貧血検査の異常（後期）		適正月齢		月齢外	
計		集団	個別	集団	個別
1,391		1,194	13	183	1

※貧血は、ヘモグロビン値11.0g/dl未満を集計

（参照）統計資料 No. 3～4

7-1 診察有所見の内訳

有所見の内訳

診察所見は、複数記載がある場合、同部位内はシステム上1件のカウントで集計した。受診者25,463人の部位ごとの所見は5,045件（19.8%）あり、部位内で複数の所見がある場合はすべてを集計した延べ件数で示した。その内訳は以下のとおりである。さらに項目ごとの詳細についても示している。

				件数	発育	皮膚	頭頸部	顔面・口腔	眼	耳鼻咽喉	胸部
(部位別) 件数	適正月齢	前期	集団	1,550	65	609	41	28	25	17	74
			個別	1,382	131	648	35	27	24	25	43
			小計	2,932	196	1,257	76	55	49	42	117
			%	100.0	6.7	42.9	2.6	1.9	1.7	1.4	4.0
		後期	集団	1,294	198	462	44	34	40	17	79
			個別	636	159	251	18	20	14	7	30
			小計	1,930	357	713	62	54	54	24	109
			%	100.0	18.5	36.9	3.2	2.8	2.8	1.2	5.6
		月齢外	集団	174	24	67	10	5	5	3	14
			個別	9	1	5	1	-	-	-	-
			小計	183	25	72	11	5	5	3	14

延べ件数	適正月齢	前期	集団	1,606	66	644	43	28	25	18	74
			個別	1,442	135	693	36	27	25	25	45
			小計	3,048	201	1,337	79	55	50	43	119
			%	-	6.9	45.6	2.7	1.9	1.7	1.5	4.1
		後期	集団	1,348	207	488	46	34	41	18	79
			個別	670	176	260	19	20	14	8	30
			小計	2,018	383	748	65	54	55	26	109
			%	-	19.8	38.8	3.4	2.8	2.8	1.3	5.6
		月齢外	集団	183	27	70	11	5	5	3	14
			個別	10	2	5	1	-	-	-	-
			小計	193	29	75	12	5	5	3	14

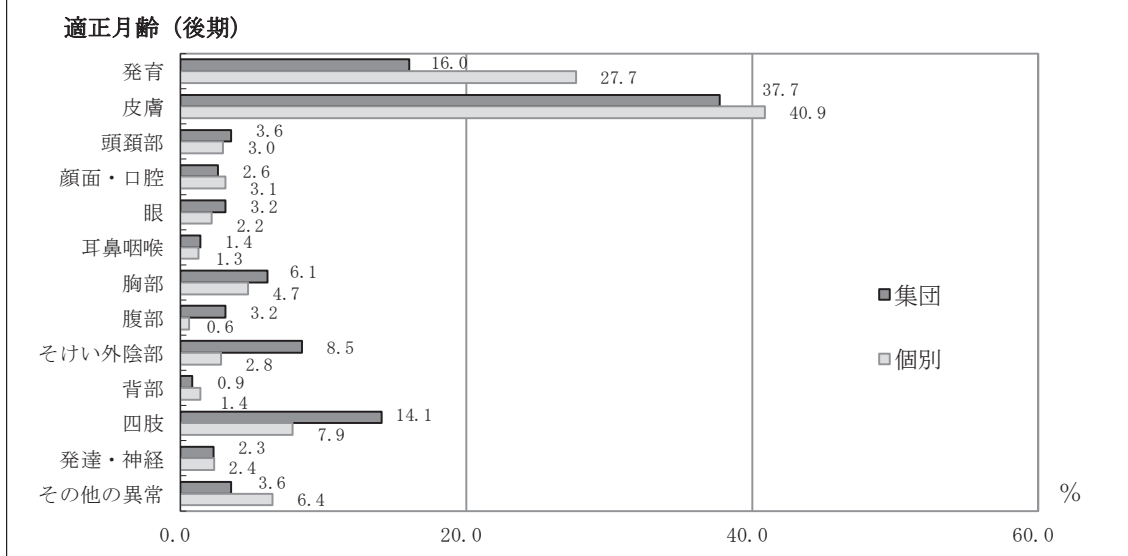
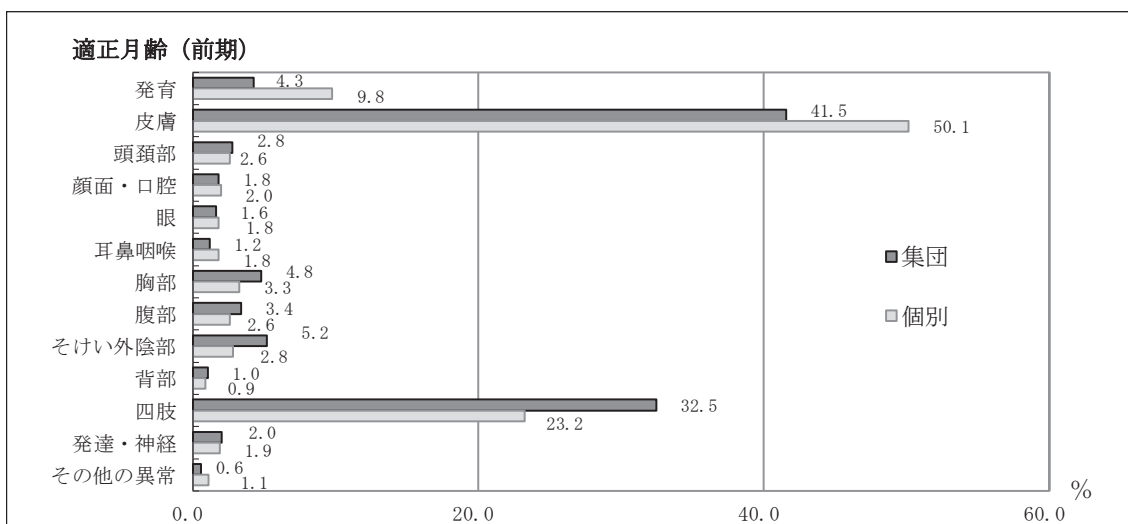
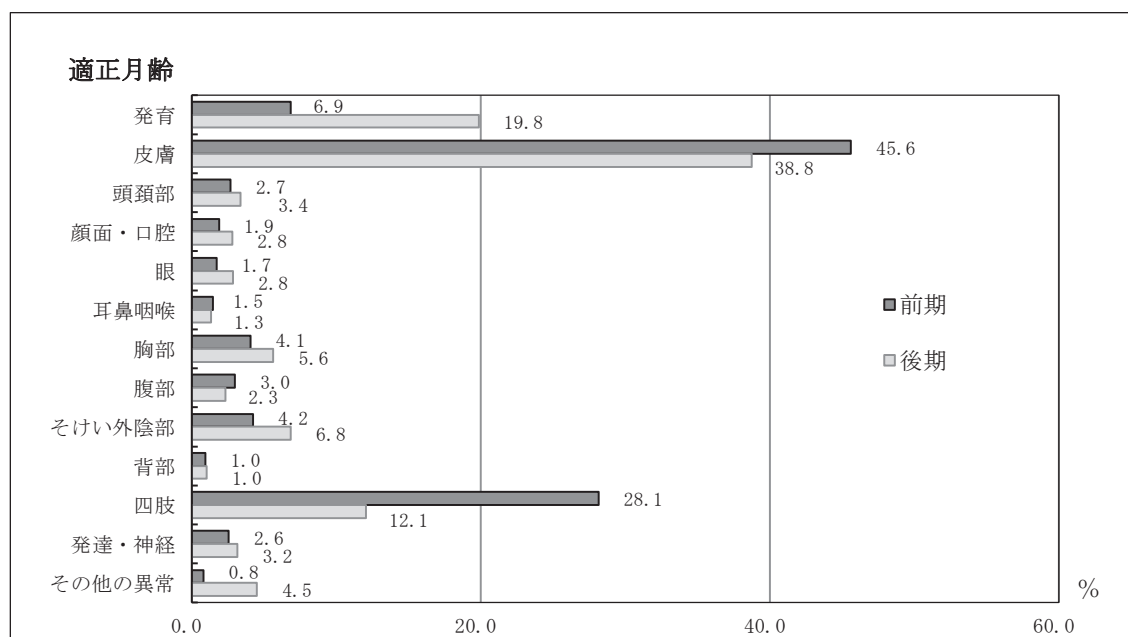
				腹部	そけい外陰部	背部	四肢	発達・神経	その他の異常
(部位別) 件数	適正月齢	前期	集団	52	80	16	503	31	9
			個別	36	39	12	321	26	15
			小計	88	119	28	824	57	24
			%	3.0	4.1	1.0	28.1	1.9	0.8
		後期	集団	41	110	11	182	30	46
			個別	4	18	9	50	15	41
			小計	45	128	20	232	45	87
			%	2.3	6.6	1.0	12.0	2.3	4.5
		月齢外	集団	6	9	3	16	4	8
			個別	-	-	-	1	-	1
			小計	6	9	3	17	4	9

延べ件数	適正月齢	前期	集団	52	83	16	503	45	9
			個別	36	41	12	322	30	15
			小計	88	124	28	825	75	24
			%	3.0	4.2	1.0	28.1	2.6	0.8
		後期	集団	41	114	11	182	41	46
			個別	4	18	9	51	20	41
			小計	45	132	20	233	61	87
			%	2.3	6.8	1.0	12.1	3.2	4.5
		月齢外	集団	6	9	3	16	6	8
			個別	-	-	-	1	-	1
			小計	6	9	3	17	6	9

注) 所見項目の割合は(%)は、部位別件数を分母に算出。

(参照) 統計資料 No. 3~4

有所見の内訳（乳児）

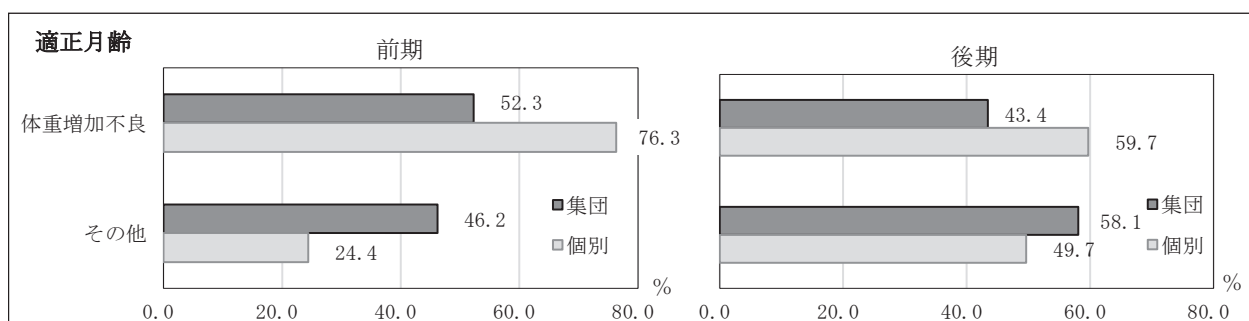


①＜発育＞

単位：件

(部位別) 件数				単位：件							
				体重増加不良 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数	
適正月齢	前期	集団	65	34	52.3	30	46.2	2	3.1	66	
		個別	131	100	76.3	32	24.4	3	2.3	135	
	後期	集団	198	86	43.4	115	58.1	6	3.0	207	
		個別	159	95	59.7	79	49.7	2	1.3	176	
	小計			553	315	57.0	256	46.3	13	2.4	584
	月齢外	集団	24	12	50.0	15	62.5	－	－	27	
個別		1	1	100.0	1	100.0	－	－	2		
小計		25	13	52.0	16	64.0	－	－	29		
合計				328	－	272	－	13	－	613	

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

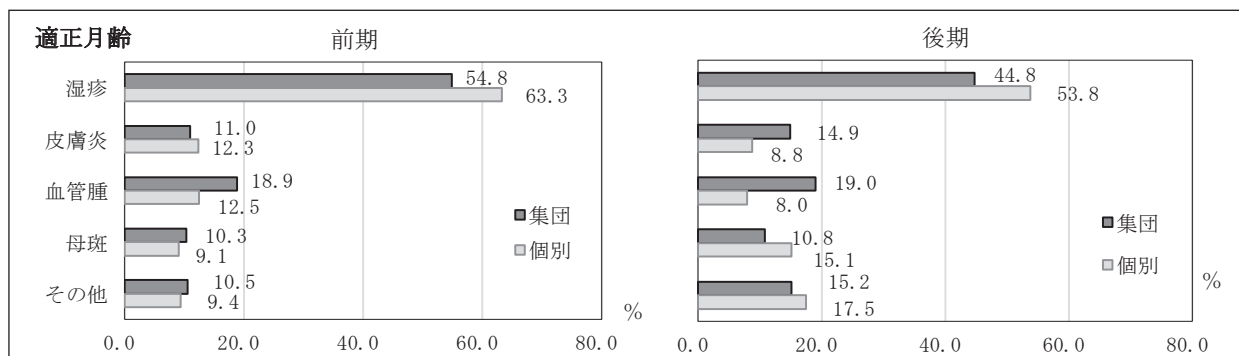


②＜皮膚＞

単位：件

(部位別) 件数				湿疹		皮膚炎		血管腫		母斑		その他		記入なし		延べ 件数
				%		%		%		%		%		%		
適正月齢	前期	集団	609	334	54.8	67	11.0	115	18.9	63	10.3	64	10.5	1	0.2	644
		個別	648	410	63.3	80	12.3	81	12.5	59	9.1	61	9.4	2	0.3	693
	後期	集団	462	207	44.8	69	14.9	88	19.0	50	10.8	70	15.2	4	0.9	488
		個別	251	135	53.8	22	8.8	20	8.0	38	15.1	44	17.5	1	0.4	260
	小計		1,970	1,086	55.1	238	12.1	304	15.4	210	10.7	239	12.1	8	0.4	2,085
月齢外	集団		67	36	53.7	3	4.5	6	9.0	10	14.9	13	19.4	2	3.0	70
	個別		5	2	40.0	1	20.0	-	-	-	-	2	40.0	-	-	5
	小計		72	38	52.8	4	5.6	6	8.3	10	13.9	15	20.8	2	2.8	75
合計				1,124	-	242	-	310	-	220	-	254	-	10	-	2,160

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

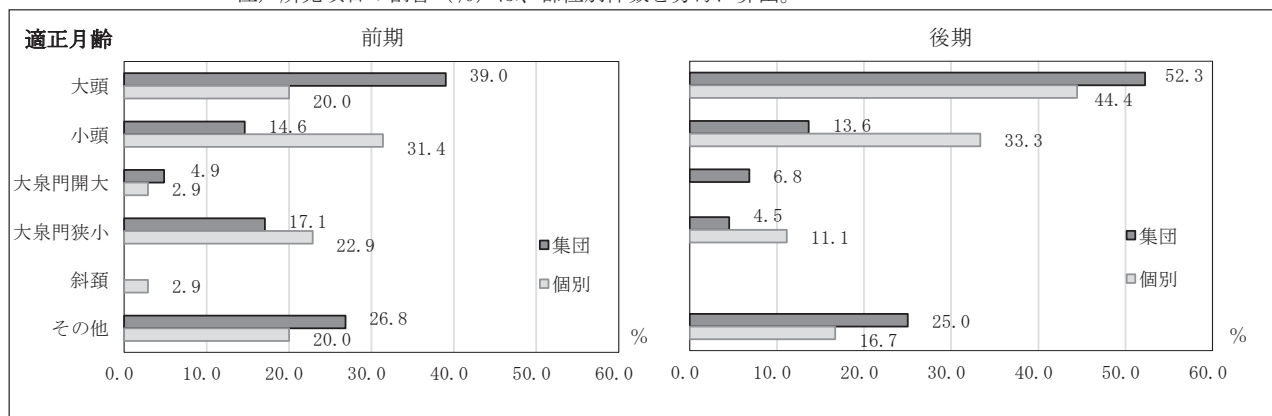


③＜頭頸部＞

単位：件

				単位：件														
(部位別) 件数				大頭 %		小頭 %		大泉門開大 %		大泉門狭小 %		斜頸 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	41	16	39.0	6	14.6	2	4.9	7	17.1	－	－	11	26.8	1	2.4	43
		個別	35	7	20.0	11	31.4	1	2.9	8	22.9	1	2.9	7	20.0	1	2.9	36
	後期	集団	44	23	52.3	6	13.6	3	6.8	2	4.5	－	－	11	25.0	1	2.3	46
		個別	18	8	44.4	6	33.3	－	－	2	11.1	－	－	3	16.7	－	－	19
	小計			138	54	39.1	29	21.0	6	4.3	19	13.8	1	0.7	32	23.2	3	2.2
月齢外	集団		10	6	60.0	－	－	2	20.0	－	－	2	20.0	1	10.0	－	－	11
	個別		1	1	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1
	小計		11	7	63.6	－	－	2	18.2	－	－	2	18.2	1	9.1	－	－	12
合計				61	－	29	－	8	－	19	－	3	－	33	－	3	－	156

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

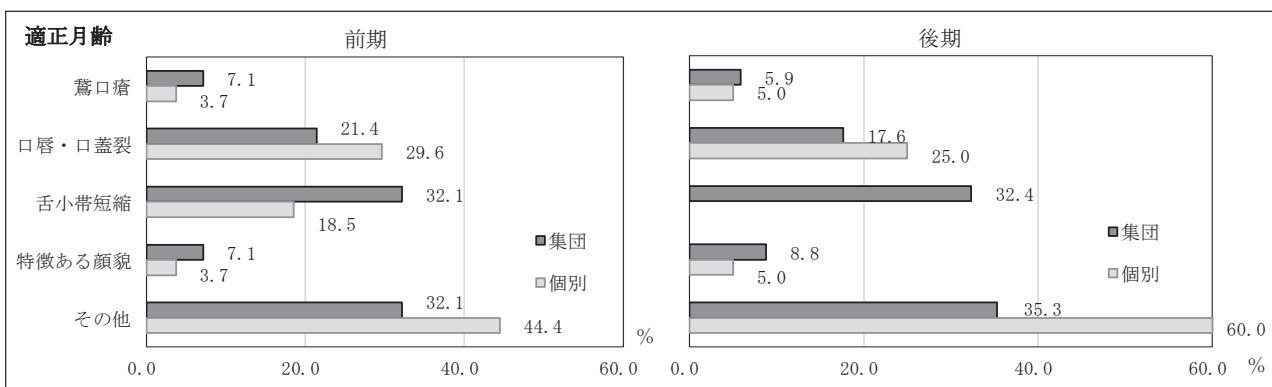


④＜顔面・口腔＞

単位：件

(部位別) 件数				顰口瘡 %		口唇・口蓋裂 %		舌小帯短縮 %		特徴ある顔貌 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	28	2	7.1	6	21.4	9	32.1	2	7.1	9	32.1	－	－	28
		個別	27	1	3.7	8	29.6	5	18.5	1	3.7	12	44.4	－	－	27
	後期	集団	34	2	5.9	6	17.6	11	32.4	3	8.8	12	35.3	－	－	34
		個別	20	1	5.0	5	25.0	－	－	1	5.0	12	60.0	1	5	20
	小計			109	6	5.5	25	22.9	25	22.9	7	6.4	45	41.3	1	1
月齢外	集団		5	－	－	1	20.0	－	－	1	20.0	3	60.0	－	－	5
	個別		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小計		5	－	－	1	20.0	－	－	1	20.0	3	60.0	－	－	5
合計				6	－	26	－	25	－	8	－	48	－	1	－	114

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

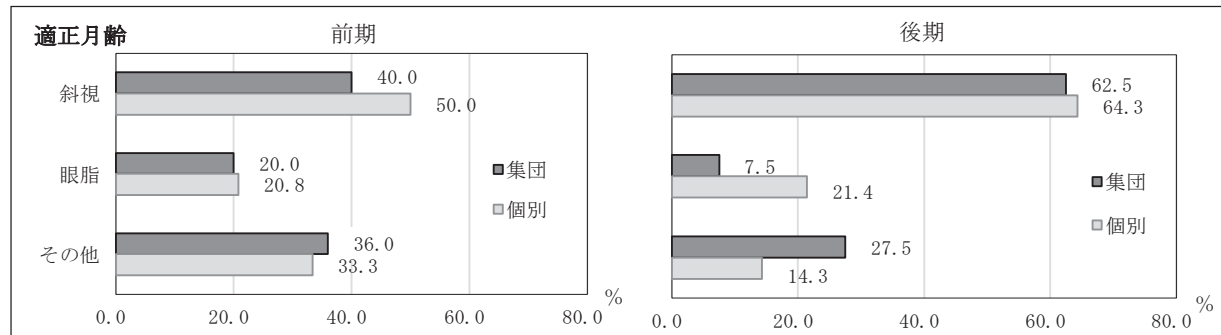


⑤＜眼＞

単位：件

(部位別) 件数												
				斜視 %		眼脂 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	25	10	40.0	5	20.0	9	36.0	1	4.0	25
		個別	24	12	50.0	5	20.8	8	33.3	－	－	25
	後期	集団	40	25	62.5	3	7.5	11	27.5	2	5.0	41
		個別	14	9	64.3	3	21.4	2	14.3	－	－	14
	小計			103	56	54.4	16	15.5	30	29.1	3	2.9
月齢外	集団		5	4	80.0	1	20.0	－	－	－	－	5
	個別		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小計		5	4	80.0	1	20.0	－	－	－	－	5
合計				60	－	17	－	30	－	3	－	110

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

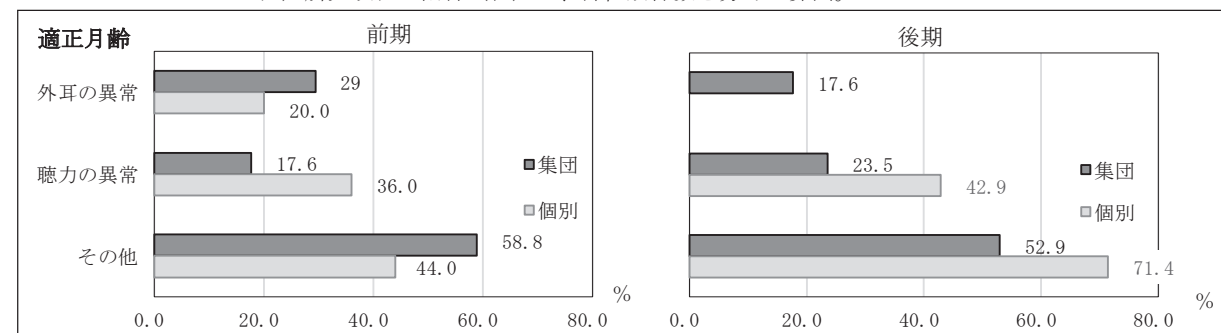


⑥＜耳鼻咽喉＞

単位：件

(部位別) 件数				外耳の異常		聴力の異常		その他		記入なし		延べ 件数
				%		%		%		%		
適正月齢	前期	集団	17	5	29	3	17.6	10	58.8	－	－	18
		個別	25	5	20.0	9	36.0	11	44.0	－	－	25
	後期	集団	17	3	17.6	4	23.5	9	52.9	2	11.8	18
		個別	7	－	－	3	42.9	5	71.4	－	－	8
	小計			66	13	19.7	19	28.8	35	53.0	2	3.0
月齢外	集団		3	1	33.3	1	33.3	1	33.3	－	－	3
	個別		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小計		3	1	33.3	1	33.3	1	33.3	－	－	3
合計				14	－	20	－	36	－	2	－	72

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

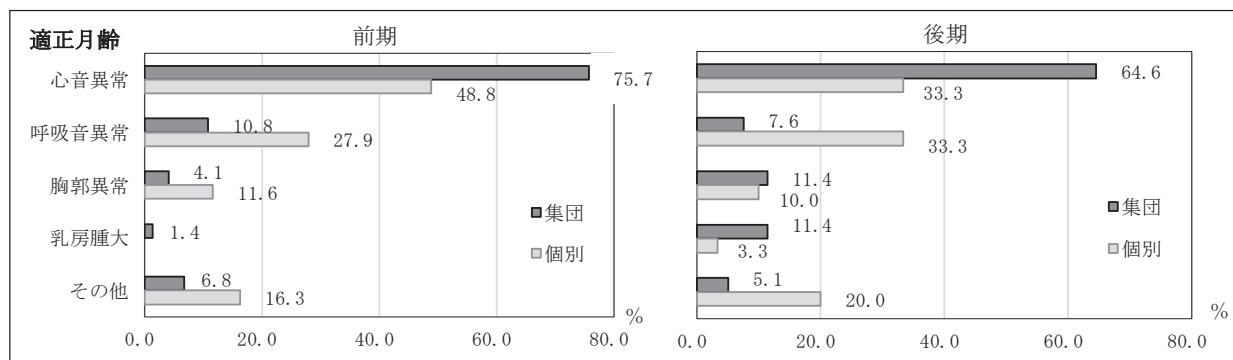


⑦＜胸部＞

単位：件

(部位別) 件数				心音異常 %		呼吸音異常 %		胸郭異常 %		乳房腫大 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	74	56	75.7	8	10.8	3	4.1	1	1.4	5	6.8	1	1.4	74
		個別	43	21	48.8	12	27.9	5	11.6	-	-	7	16.3	-	-	45
	後期	集団	79	51	64.6	6	7.6	9	11.4	9	11.4	4	5.1	-	-	79
		個別	30	10	33.3	10	33.3	3	10.0	1	3.3	6	20.0	-	-	30
	小計			226	138	61.1	36	15.9	20	8.8	11	4.9	22	9.7	1	0.4
月齢外	集団		14	6	42.9	-	-	2	14.3	3	21.4	3	21.4	-	-	14
	個別		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		14	6	42.9	-	-	2	14.3	3	21.4	3	21.4	-	-	14
合計				144	-	36	-	22	-	14	-	25	-	1	-	242

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

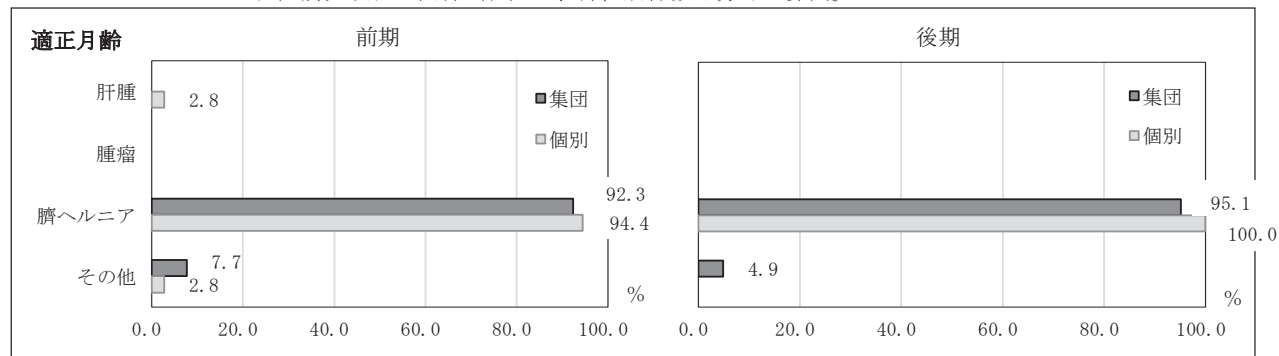


⑧＜腹部＞

単位：件

(部位別) 件数				肝腫 %		腫瘤 %		臍ヘルニア %		その他 %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	52	-	-	-	-	48	92.3	4	7.7	52
		個別	36	1	2.8	-	-	34	94.4	1	2.8	36
	後期	集団	41	-	-	-	-	39	95.1	2	4.9	41
		個別	4	-	-	-	-	4	100.0	-	-	4
	小計			133	1	0.8	-	-	125	94.0	7	5.3
月齢外	集団		6	-	-	-	-	6	100.0	-	-	6
	個別		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小計		6	-	-	-	-	6	100.0	-	-	6
合計				1	-	-	-	131	-	7	-	139

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

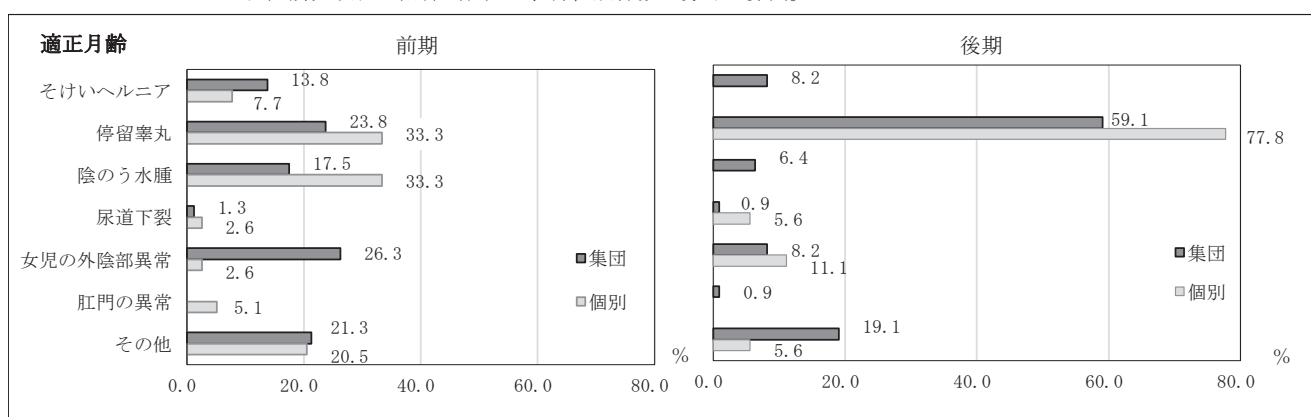


⑨＜そけい外陰部＞

単位：件

(部位別) 件数				そけいヘルニア %		停留率丸 %		陰のう水腫 %		尿道下裂 %		女児の外陰部異常 %		肛門の異常 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	80	11	13.8	19	23.8	14	17.5	1	1.3	21	26.3	-	-	17	21.3	-	-	83
		個別	39	3	7.7	13	33.3	13	33.3	1	2.6	1	2.6	2	5.1	8	20.5	-	-	41
	後期	集団	110	9	8.2	65	59.1	7	6.4	1	0.9	9	8.2	1	0.9	21	19.1	1	0.9	114
		個別	18	-	-	14	77.8	-	-	1	5.6	2	11.1	-	-	1	5.6	-	-	18
	小計			247	23	9.3	111	44.9	34	13.8	4	1.6	33	13.4	3	1.2	47	19.0	1	0.4
月齢外	集団	9	3	33.3	3	33.3	-	-	-	-	1	11.1	-	-	2	22.2	-	-	9	
	個別	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小計		9	3	33.3	3	33.3	-	-	-	-	1	11.1	-	-	2	22.2	-	-	9
合計				26	-	114	-	34	-	4	-	34	-	3	-	49	-	1	-	265

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

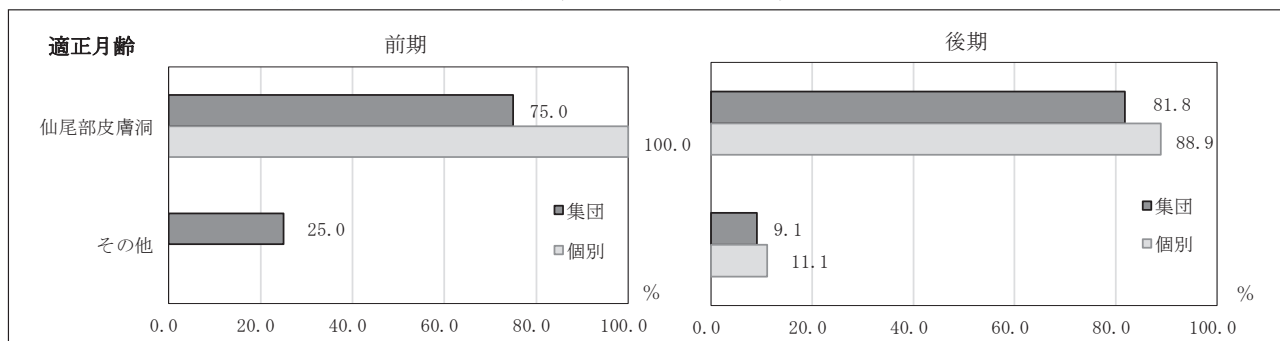


⑩＜背部＞

単位：件

(部位別) 件数				仙尾部皮膚洞 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	16	12	75.0	4	25.0	-	-	16
		個別	12	12	100.0	-	-	-	-	12
	後期	集団	11	9	81.8	1	9.1	1	9.1	11
		個別	9	8	88.9	1	11.1	-	-	9
	小計			48	41	85.4	6	12.5	1	2.1
月齢外	集団	3	2	66.7	1	33.3	-	-	3	
	個別	-	-	-	-	-	-	-	-	
	小計		3	2	66.7	1	33.3	-	-	3
合計				43	-	7	-	1	-	51

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。



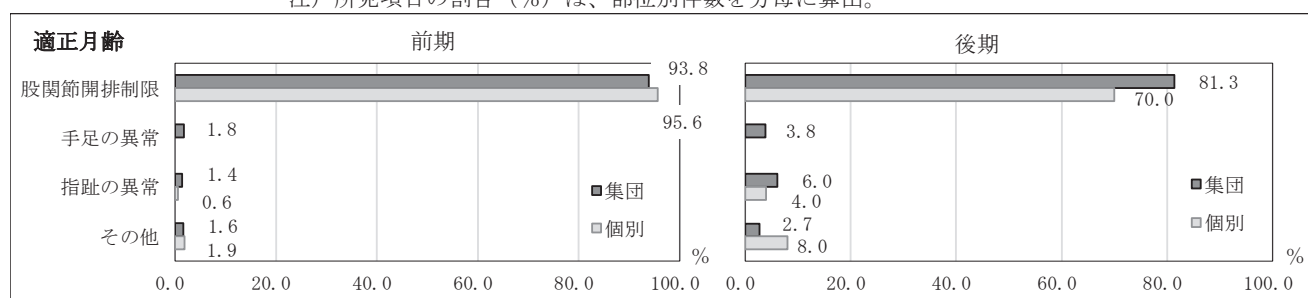
⑪＜四肢＞

単位：件

単位：件

(部位別) 件数				股関節開排制限 %		手足の異常 %		指趾の異常 %		その他 %		記入なし %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	503	472	93.8	9	1.8	7	1.4	8	1.6	7	1.4	503
		個別	321	307	95.6	-	-	2	0.6	6	1.9	7	2.2	322
	後期	集団	182	148	81.3	7	3.8	11	6.0	5	2.7	11	6.0	182
		個別	50	35	70.0	-	-	2	4.0	4	8.0	10	20.0	51
	小計		1,056	962	91.1	16	1.5	22	2.1	23	2.2	35	3.3	1,058
月齢外	集団	16	9	56.3	4	25.0	-	-	3	18.8	-	-	16	
	個別	1	-	-	1	100.0	-	-	-	-	-	-	1	
	小計	17	9	52.9	5	29.4	-	-	3	17.6	-	-	17	
合計				971	-	21	-	22	-	26	-	35	-	1,075

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。

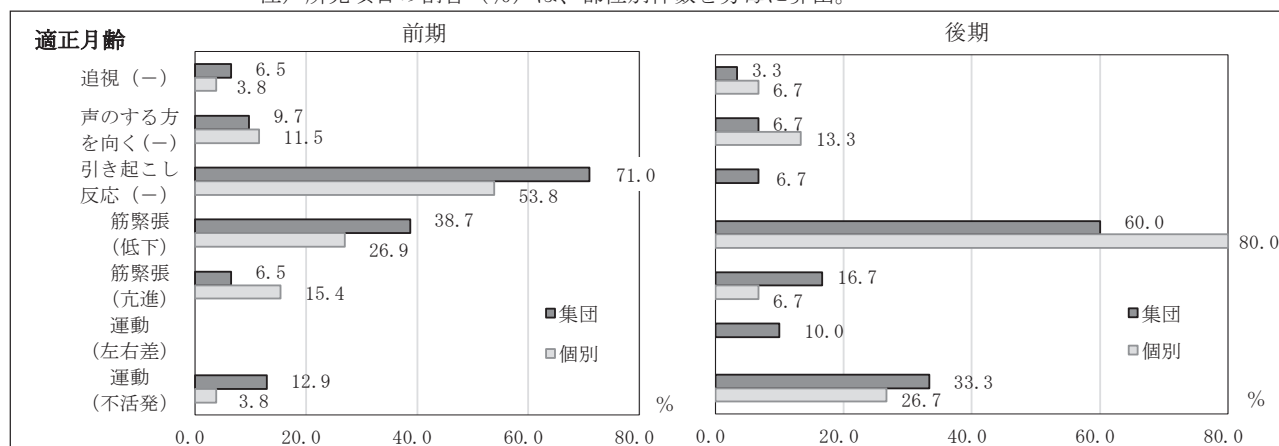


⑫＜発達・神経＞

単位：件

(部位別) 件数				単位：件														
				追視（－） %		声のする方 を向く（－） %		引き起こし 反応（－） %		筋緊張 （低下） %		筋緊張 （亢進） %		運動 （左右差） %		運動 （不活発） %		延べ 件数
適正月齢	前期	集団	31	2	6.5	3	9.7	22	71.0	12	38.7	2	6.5	－	－	4	12.9	
		個別	26	1	3.8	3	11.5	14	53.8	7	26.9	4	15.4	－	－	1	3.8	30
	後期	集団	30	1	3.3	2	6.7	2	6.7	18	60.0	5	16.7	3	10.0	10	33.3	41
		個別	15	1	6.7	2	13.3	－	－	12	80.0	1	6.7	－	－	4	26.7	20
	小計			102	5	4.9	10	9.8	38	37.3	49	48.0	12	11.8	3	2.9	19	18.6
月齢外	集団		4	－	－	－	－	－	－	3	75.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	6
	個別		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	小計		4	－	－	－	－	－	－	3	75.0	1	25.0	1	25.0	1	25.0	6
合計				5	－	10	－	38	－	52	－	13	－	4	－	20	－	142

注) 所見項目の割合(%)は、部位別件数を分母に算出。



7-2 検査結果の内訳

貧血検査

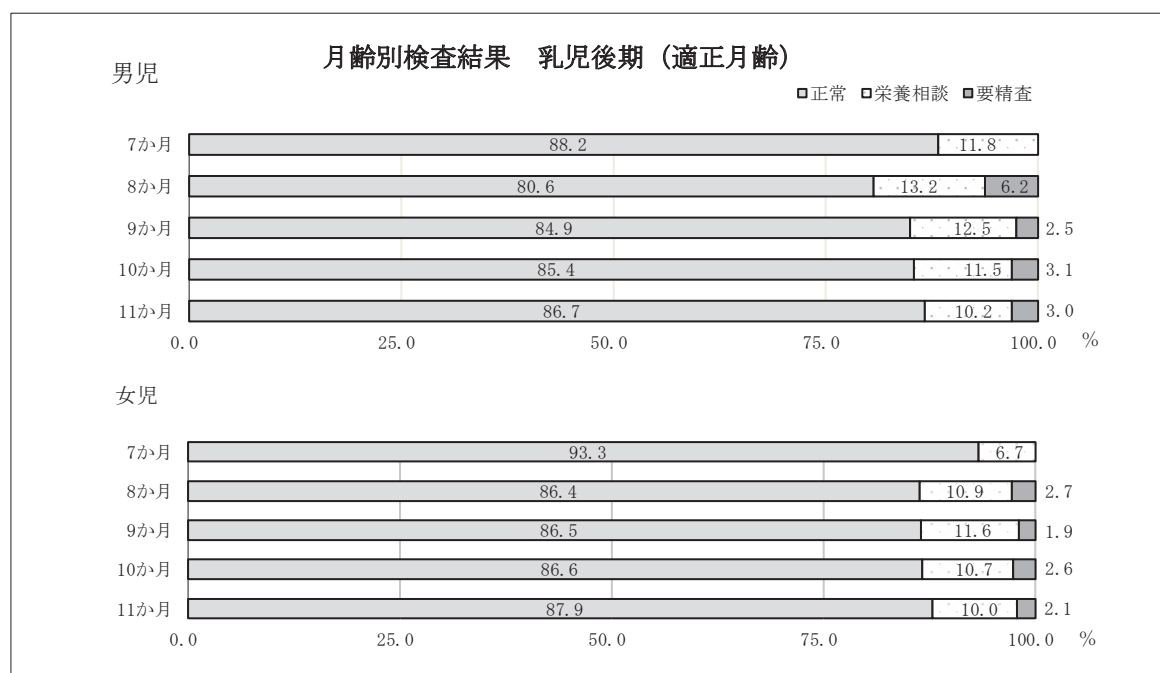
貧血検査は乳児後期の適正月齢と月齢外児を対象とし、検査を実施した児は10,127人（77.4%）、未検査は2,954人（22.6%）であった。未検査が多いのは、本来貧血検査の対象とならない乳児前期児（1回目対象児）が、新型コロナウイルス感染症の影響を受け後期月齢になっての受診となったことと、個別健診における貧血検査の未実施等が影響したと考えられる。

検査結果の内訳は、要精査が262人（2.6%）、栄養相談が必要な児は1,129人（11.1%）、正常は8,736人（86.3%）となっている。

単位：人

後期受診者数			検査実施 小計	要精査 9.9 g/dl以下	栄養相談 10.0～10.9 g/dl	正常 11.0 g/dl以上	未検査	計
集団	適正月齢	男	4,468	131	520	3,817	217	4,685
		女	4,112	94	449	3,569	187	4,299
		計	8,580	225	969	7,386	404	8,984
		%	100.0	2.6	11.3	86.1	-	-
	月齢外	男	717	19	82	616	3	720
		女	691	12	70	609	2	693
		計	1,408	31	152	1,225	5	1,413
		%	100.0	2.2	10.8	87.0	-	-
	合計		9,988	256	1,121	8,611	409	10,397
	%		100.0	2.6	11.2	86.2	-	-
個別	適正月齢	男	67	4	5	58	1,258	1,325
		女	66	2	2	62	1,213	1,279
		計	133	6	7	120	2,471	2,604
	月齢外	男	5	-	-	5	43	48
		女	1	-	1	-	31	32
		計	6	-	1	5	74	80

（参照）統計資料 No. 7



8 総合判定

受診者数25,463人について医師の総合判定の結果は、問題なしが19,465人（76.4%）、判定結果で異常等があった児は実人員で5,998人（23.6%）となっている。

判定結果の内容は複数になる場合もあり、すべての内容を集計した延べ件数は26,615件で、その内訳は問題なし19,465件、何らかの判定ありの延べ件数は7,150件となっている。

また、次ページは適正月齢受診者について、医師の総合判定の結果で異常があったものについて、その判定別の詳細を示したものである。判定結果の内容が複数ある場合は、すべてを集計した延べ数で示した。

単位：人

			受診者数	問題なし	判定結果異常等（実人員）						小計
					要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中	
適正月齢	前期	集団	7,138	5,629	238	157	661	24	160	269	1,509
		個別	5,244	4,181	129	195	385	108	123	123	1,063
		小計	12,382	9,810	367	352	1,046	132	283	392	2,572
		%	100.0	79.2	3.0	2.8	8.4	1.1	2.3	3.2	-
	後期	集団	8,984	6,506	1,065	275	708	18	125	287	2,478
		個別	2,604	2,037	130	182	96	27	48	84	567
		小計	11,588	8,543	1,195	457	804	45	173	371	3,045
		%	100.0	73.7	10.3	3.9	6.9	0.4	1.5	3.2	-
月齢外	集団		1,413	1,053	176	40	71	4	22	47	360
	個別		80	59	9	6	-	1	2	3	21
	小計		1,493	1,112	185	46	71	5	24	50	381

判定内容細分類（複数選択）

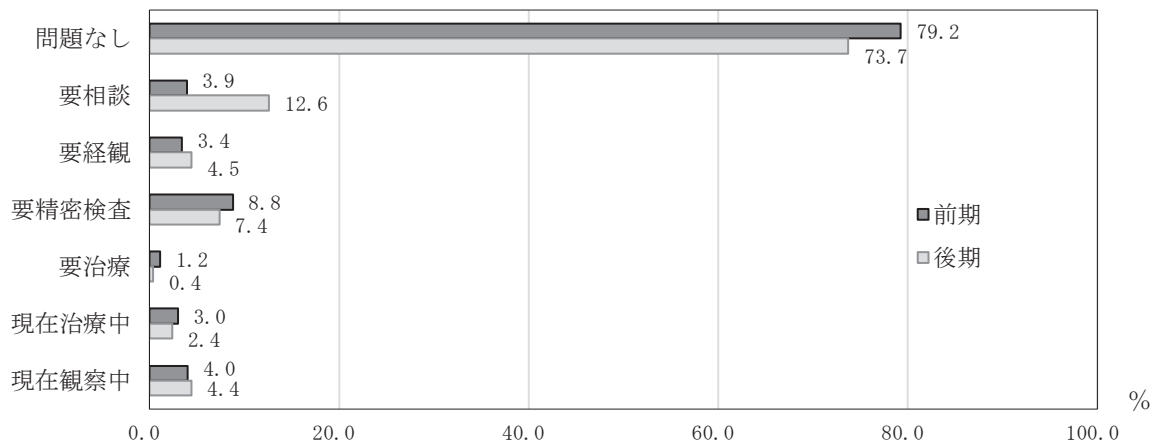
適正月齢	前期	集団	7,359	5,629	308	176	694	27	196	329	1,730
		個別	5,468	4,181	179	250	395	116	177	170	1,287
		計	12,827	9,810	487	426	1,089	143	373	499	3,017
		%	-	79.2	3.9	3.4	8.8	1.2	3.0	4.0	-
	後期	集団	9,487	6,506	1,291	300	753	18	211	408	2,981
		個別	2,731	2,037	169	216	104	29	69	107	694
		計	12,218	8,543	1,460	516	857	47	280	515	3,675
		%	-	73.7	12.6	4.5	7.4	0.4	2.4	4.4	-
月齢外	集団		1,487	1,053	205	43	76	5	44	61	434
	個別		83	59	10	7	-	1	3	3	24
	計		1,570	1,112	215	50	76	6	47	64	458

注）判定内容の割合（％）は、受診者数を分母に算出。

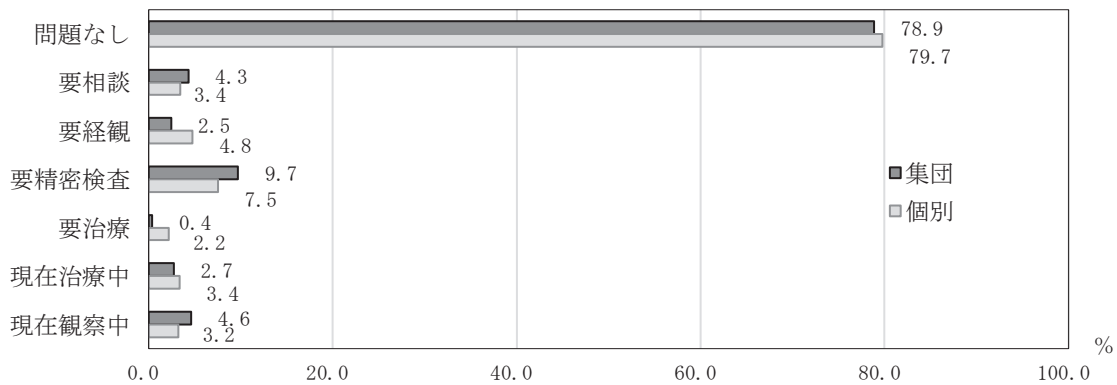
（参照）統計資料 No. 3～6 経年比較資料 No. 24

総合判定の内訳（乳児）

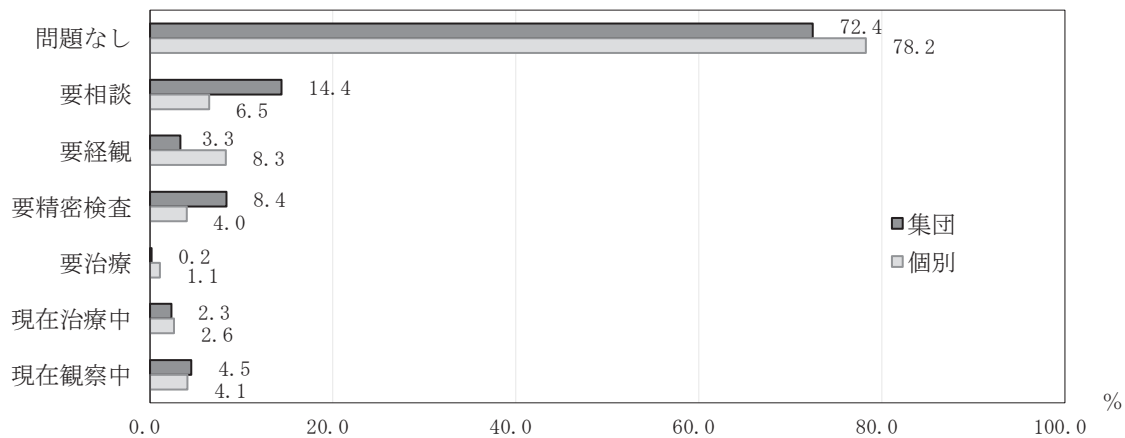
適正月齢



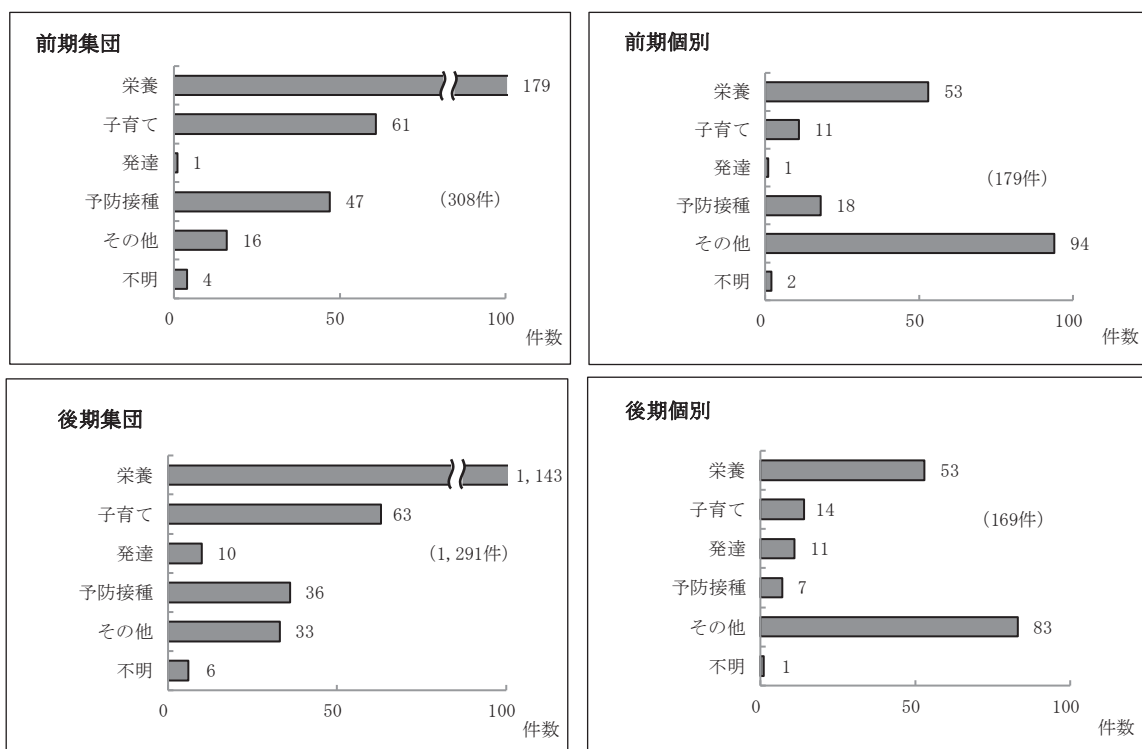
適正月齢（前期）



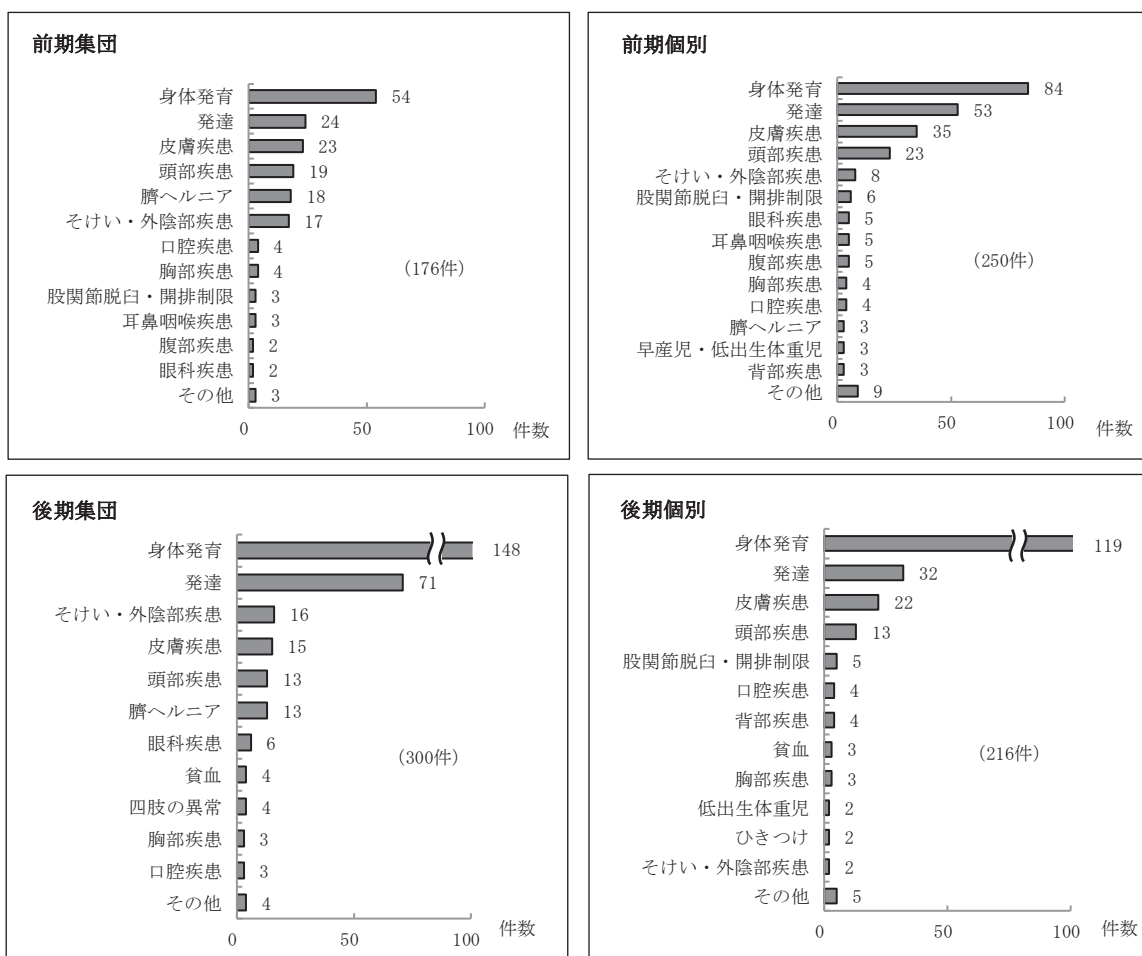
適正月齢（後期）



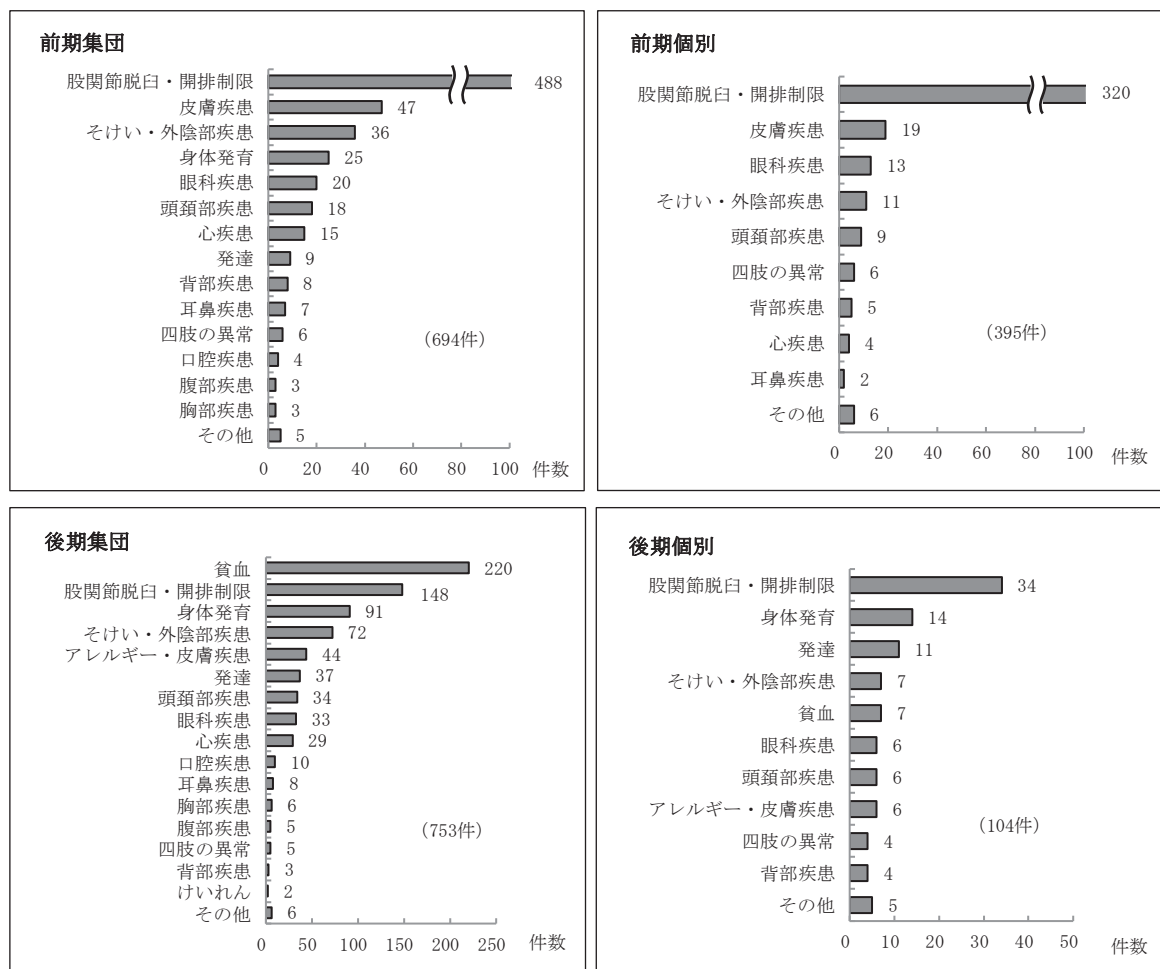
8-1 要相談について（適正月齢）



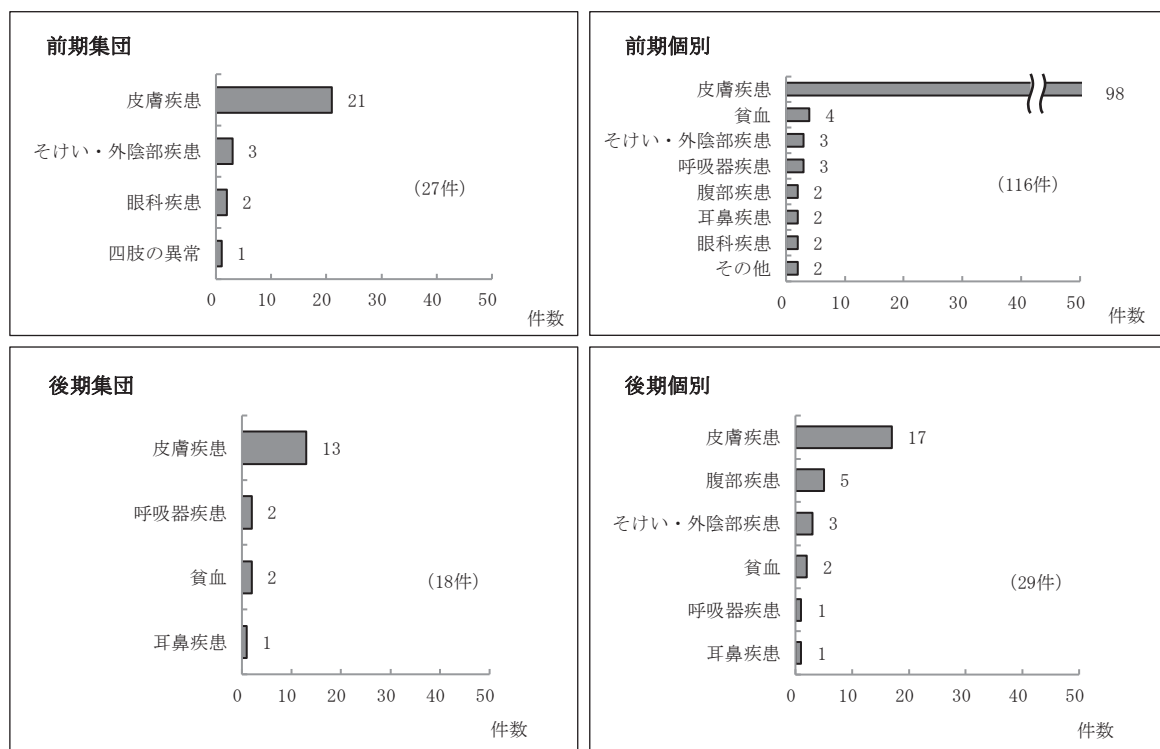
8-2 要経過観察について（適正月齢）



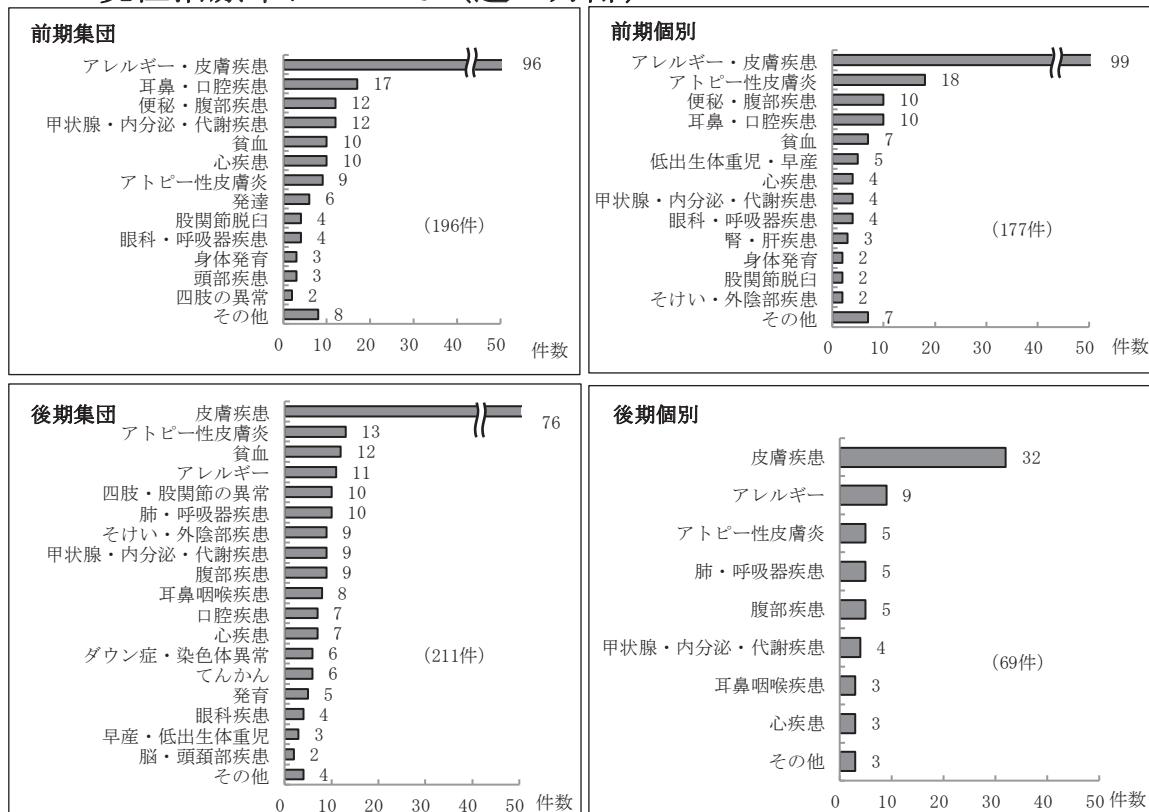
8-3 要精密検査について（適正月齢）



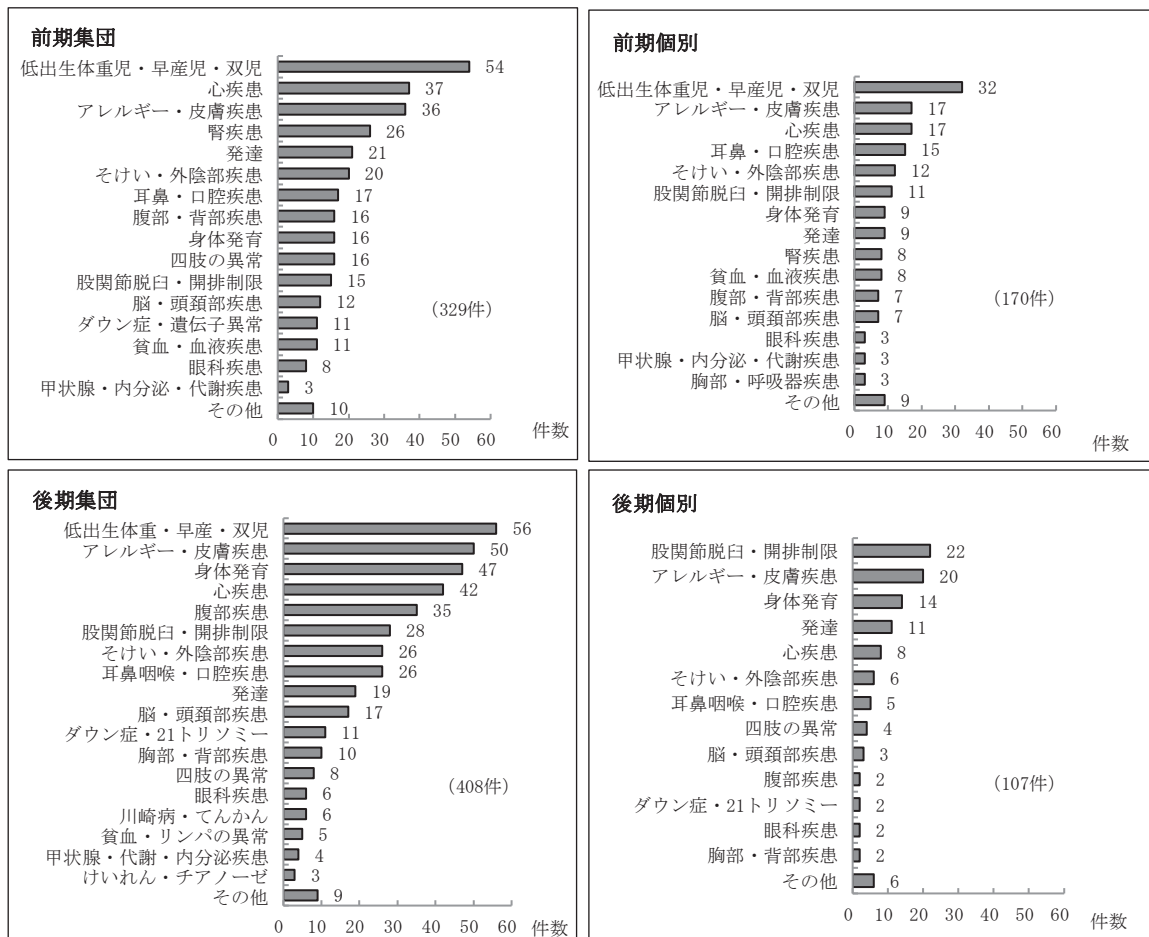
8-4 要治療について（適正月齢）



8-5 現在治療中について（適正月齢）



8-6 現在観察中について（適正月齢）



9 問診・保健相談

9-1 保健師等による問診からの区分

問診からの区分は、問診担当保健師等から各専門職へ、該当児等に関し特に配慮して欲しい内容をメッセージとして届けるためのチェック欄である。以下は、その内容項目を示したものである。

実人員			配慮する項目の分類							
			延べ件数	栄養	家族状況	予防接種	子育て	発達	生活リズム	主訴
集団	適正月齢	6,619	7,609	1,314	24	75	300	196	109	5,591
		%	-	19.9	0.4	1.1	4.5	3.0	1.6	84.5
	月齢外	596	697	116	1	10	36	16	9	509
		%	-	19.5	0.2	1.7	6.0	2.7	1.5	85.4
	計	7,215	8,306	1,430	25	85	336	212	118	6,100
個別	対応なし	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(参照) 統計資料 No. 13

9-2 保健師等による保健相談と医師による総合判定

保健師等による保健相談の対応と医師による総合判定状況と照らしたものである。

保健師等による					医師の総合判定（実人員）						
保健相談			受診者数	%	問題なし	要相談	要経観	要精密検査	要治療	現在治療中	現在観察中
集団	適正月齢	要経観	2,547	15.8	644	256	300	1,136	17	36	158
		結果説明	12,466	77.3	10,596	952	117	180	24	235	362
		記入なし	1,109	6.9	895	95	15	53	1	14	36
		小計	16,122	－	12,135	1,303	432	1,369	42	285	556
	月齢外	要経観	151	10.7	39	23	28	49	－	－	12
		結果説明	1,193	84.4	969	139	11	16	3	21	34
		記入なし	69	4.9	45	14	1	6	1	1	1
		小計	1,413	－	1,053	176	40	71	4	22	47
	計	要経観	2,698	15.4	683	279	328	1,185	17	36	170
		結果説明	13,659	77.9	11,565	1,091	128	196	27	256	396
		記入なし	1,178	6.7	940	109	16	59	2	15	37
		小計	17,535	－	13,188	1,479	472	1,440	46	307	603
個別	対応なし	－	－	－	－	－	－	－	－	－	

(参照) 統計資料 No. 14

9-3 保健師等による保健相談内訳

保健師等の保健相談で要経過観察とした内容である。

保健師等			要経過観察内訳									
実人員			延べ件数	栄養	子育て	発達	発育	生活習慣	検査	疾病	その他	不明
集団	適正月齢	2,547	2,790	222	251	253	359	25	796	118	101	665
		%	－	8.7	9.9	9.9	14.1	1.0	31.3	4.6	4.0	26.1
	月齢外	151	160	20	20	12	24	1	28	5	13	37
		%	－	13.2	13.2	7.9	15.9	0.7	18.5	3.3	8.6	24.5
	計	2,698	2,950	242	271	265	383	26	824	123	114	702
個別	対応なし	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(参照) 統計資料 No. 15

10 栄養相談

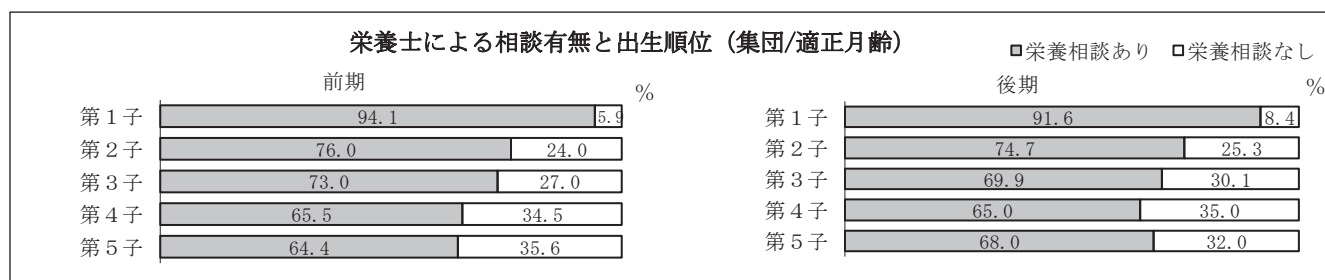
10-1 栄養士による相談有無と出生順位

栄養士の相談対応有無と児の出生順位について集計したものである。

受診月齢			受診者数	第1子		第2子		第3子		第4子		第5子以上		不明	
				相談あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし	あり	なし
集団	適正月齢	前期	7,138	2,537	158	1,674	528	1,020	377	351	185	134	74	79	21
		%	-	94.1	5.9	76.0	24.0	73.0	27.0	65.5	34.5	64.4	35.6	79.0	21.0
		後期	8,984	3,273	301	2,100	710	1,153	496	379	204	151	71	125	21
		%	-	91.6	8.4	74.7	25.3	69.9	30.1	65.0	35.0	68.0	32.0	85.6	14.4
	月齢外	小計	16,122	5,810	459	3,774	1,238	2,173	873	730	389	285	145	204	42
		%	-	84.6	15.4	61.4	38.6	54.9	45.1	48.1	51.9	52.5	47.5	76.9	23.1
	計		17,535	6,227	535	4,055	1,415	2,325	998	781	444	306	164	234	51
個別	対応なし		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注) 栄養相談の有無は、受診票の栄養士名の記載有無で判断した。

(参照) 統計資料 No. 16



10-2 栄養士による相談有無と貧血の指導区分

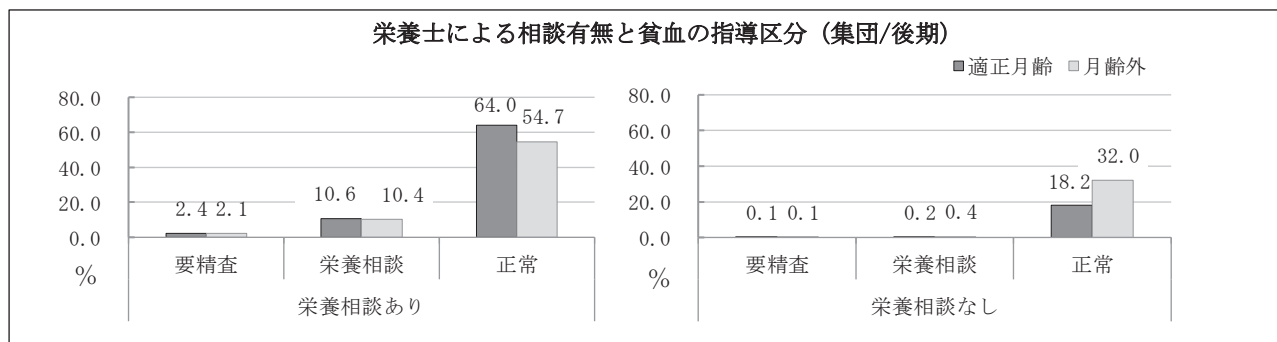
栄養士の相談対応有無と児の貧血指導区分について集計した。

後期 受診者数			栄養相談あり			栄養相談なし			貧血検査
			要精査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0 以上	要精査 9.9以下	栄養相談 10.0~ 10.9	正常 11.0 以上	
集団	適正月齢	8,984	216	948	5,747	9	21	1,639	404
	%	100.0	2.4	10.6	64.0	0.1	0.2	18.2	4.5
	月齢外	1,413	30	147	773	1	5	452	5
	%	100.0	2.1	10.4	54.7	0.1	0.4	32.0	0.4
	小計	10,397	246	1,095	6,520	10	26	2,091	409
個別	適正月齢	2,604	4	3	9	2	4	111	2,471
	月齢外	80	-	1	-	-	-	5	74

注) 栄養相談の有無は、受診票の栄養士名の記載有無で判断した。

(参照) 統計資料 No. 17

注) 貧血検査は乳児後期のみで集計。

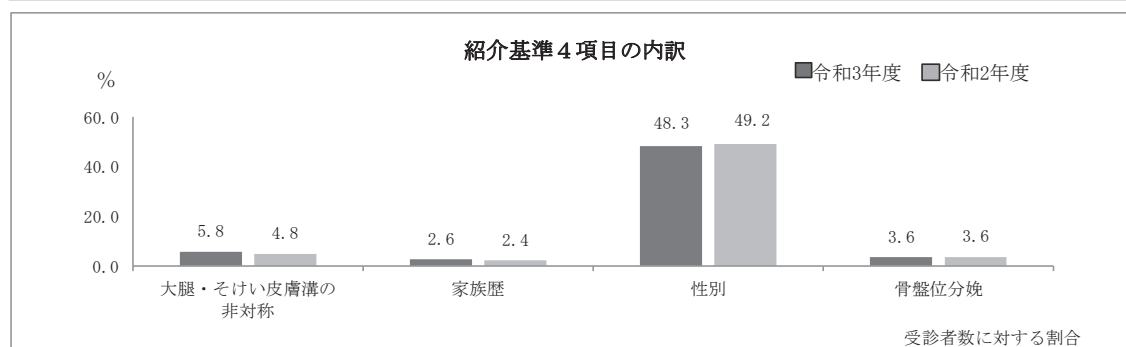
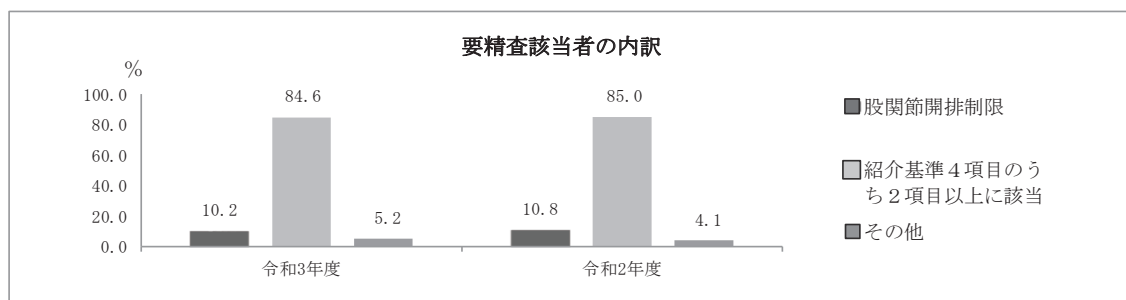


ワンポイント



○乳児前期（6か月児まで）の股関節開排制限の紹介基準で分類した要精査該当者内訳

		受診者数	要精査 該当者数	股関節開排制限				紹介基準 4項目の うち2項目 以上に該当	その他
				開排制限	開排制限 及び 2項目以上 に該当	開排制限 及び 1項目に 該当			
令和3年度	総計	12,382	1,010	103	21	42	40	854	53
	%		100.0	10.2	-	-	-	84.6	5.2
	集団	7,138	617	33	6	11	16	554	30
	個別	5,244	393	70	15	31	24	300	23
令和2年度	総計	11,071	822	89	17	25	47	699	34
	%		100.0	10.8	-	-	-	85.0	4.1
	集団	6,605	526	29	6	7	16	468	29
	個別	4,466	296	60	11	18	31	231	5



○乳児前期（6か月児まで）の股関節開排制限の紹介基準による要精査該当者に対する医師の総合判定

		要精査 該当者数	要精査	要経観	要治療	治療中	観察中	問題なし
令和3年度	総計	1,010	808	8	-	6	25	163
	%	100.0	80.0	0.8	-	0.6	2.5	16.1
	集団	617	488	3	-	4	15	107
	個別	393	320	5	-	2	10	56
令和2年度	総計	822	637	9	1	-	19	156
	%	100.0	77.5	1.1	0.1	-	2.3	19.0
	集団	526	407	2	1	-	17	99
	個別	296	230	7	-	-	2	57

○乳児前期（6か月児まで）の股関節開排制限に係る要精査者の内訳（医師の判定）

		要精査 該当者数	要精査 (紹介基準で発行)	基準を満たさないが1 項目に該当	その他の 所見
令和3年度	総計	808	768	37	3
	%	100.0	95.0	4.6	0.4
	集団	488	465	22	1
	個別	320	303	15	2
令和2年度	総計	637	608	28	1
	%	100.0	95.4	4.4	0.2
	集団	407	382	24	1
	個別	230	226	4	-

（参照）統計資料 No. 9～10